



# THE EIKO ALUMNI 92

2019年10月1日発行 ©2019 発行人:栄光学園同窓会・山田宏幸 編集人:高橋英治 印刷所:ナガシマ印刷工房  
発行元:栄光学園同窓会 〒247-0071 鎌倉市玉縄4-1-1 ☎0467-44-8875 <http://www.eikoalumni.org>

## 栄光学園同窓会2019年度定期総会



2019年度定期総会の様子

2019年5月11日に栄光学園同窓会2019年度定期総会を開催しました。会場となるアロイジオ会館2階会議室には80名近い卒業生が集い、活発な意見交換が行われました。本誌に議事録を掲載いたしますのでご覧ください。また、議案書ならびに議事録は同窓会ホームページにも掲載しております。

## 追悼ミサ

栄光祭初日の5月11日、聖堂においてこの1年間に亡くなられた教職員3名ならびに卒業生32名を追悼するミサが執り行われました。ミサの後にアロイジオ会館で行われた茶話会では、亡くなられた友人を偲ぶ同級生やご遺族のお話一同が涙をそそられる場面も見られました。



追悼ミサ

## OBの部屋 ALUMNI

栄光祭の期間中、聖堂ホールにおいてOBの部屋ALUMNIを実施しました。2日間を通じて379名のOBの方が来訪され、OBの部屋で提供されるサンドイッチや飲み物を手に、久しぶりに会う同級生たちと昔話や近況報告で盛り上がっていました。なお、今年は66期の有志が設営や飲食物の提供などの運営を担当してくれました。ありがとうございました。

## 同窓会会員名簿について

本年度の定期総会において、紙の名簿に替え、EACONを名簿とすることをご承認いただきました。同窓会執行部では、これを受けてEACONの機能を改善するとともに、学年ごとの卒業生氏名をリスト化した会員リストを発行、送付いたしました。詳しくは本誌5ページの特別委員会:「会員名簿とEACON」からの報告をご覧ください。

会員リストには連絡先や勤務先等の名簿情報は掲載していませんが、学年ごとの卒業生のお名前を網羅しています。EACONにアクセスして、名簿情報をご覧いただく手順についても会員リストに掲載しております。ぜひとも会員リストを有効にご活用いただき、会員各位の名簿情報の入力更新を実施願います。EACONを名簿として活用していくには皆様のEACONへの名簿情報の入力、更新、そして公開が不可欠となります。より多くの名簿情報がEACONを通じて共有されますようご協力をお願いいたします。

主な目次 No.92		定期総会議事録	13
学園からのメッセージ	2	「学園通信」より	19
同窓会会長ご挨拶	2	同期の活動・同期会	21
同窓会活動	3	支部活動	25
同窓会執行部より	5	歴史文学散歩	28
EACON操作説明	10	訃報・お知らせ	30

## 学園からのメッセージ

### 栄光学園中学高等学校校長 望月伸一郎

同窓会のみなさまには、日頃より学園の教育活動にご理解とご支援をいただき、心から感謝いたしております。

さる9月9日の未明に関東地方に上陸した台風15号は、各地に大きな被害をもたらしました。栄光学園の通学路である栄光坂では、暴風雨によって大きな倒木が起き、電柱がなぎ倒されて道路がふさがれ、人や車両の通行ができなくなってしまいました。学園もその影響で、休校や通学路の変更といった措置を一時的にとらざるを得なくなりましたが、現在は復旧しています。



本年度定期総会で挨拶される望月校長

さて、今年度に入ってから本校生徒たちの活躍は各地で続き、7月にベルギーで行われた国際生物学オリンピックで高2の生徒が銅メダルを、さらに同じく7月にフランスで開か

れた国際化学オリンピックでは、高2の生徒が金メダルを受賞しました。また、体操部ダブルダッチ班の生徒たちは、8月に日本で開催されたダブルダッチの世界大会の19歳以下の部門で優勝し世界チャンピオンとなりました。

また、同窓会の川村貞知様(37期)にデザインをお願いしていた学園史の展示ボードですが、川村様のご尽力でとても良いものができそうです。田浦時代の写真や大船移転直後の写真など、同窓会の方々へ在学中を思い出していただけのものとなっています。近日中に完成できそうですので、ぜひご期待ください。

## 同窓会会長挨拶

### 同窓会会長再任にあたって

#### 栄光学園同窓会会長 山田宏幸(30期)

去る5月11日(土)に開催されました2019年度栄光学園同窓会定期総会において、2017年度からの2年の任期に

引き続き、同窓会長として再任のご承認をいただきました、30期山田宏幸です。本同窓会の輝かしい歴史と素晴らしい伝統をさらに発展させ、若い世代へ引き継いでいけるよう、引き続き微力ながら、出来ることを最大限行ってまいりますのでよろしく願いいたします。副会長、各部長、事務局長、事務局等の執行部については、全員を前任期から継続し、さらに幹事を大幅に増強した体制で、会務を遂行してまいります。会員の皆さま方におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

さて、すでに様々なところでお話をさせていただいているところですが、時代は平成から令和に変わり、母校栄光学園も、法人合併や創立70周年の新校舎などを経て環境が大きく変わり、新たなステージへと進化しているように感じられます。

これらの変化を受け、前任期の70周年事業後には、ホームページの全面刷新と運用体制の整備を行いました。刷新後も、新たな運用を進めるうちに、気付いた課題などを順次改善し、手前味噌ではありますが、中高同窓会のホームページとしては、情報更新の頻度を含め、かなり充実したものになってきたと思っております。

また、本年7月からは、「EACON」による電子版「会員名簿」による会員情報管理と会員サービスの提供を開始しました。これは、個人情報保護法の改正など、時代の変化に対応すべく、長年懸案であった本同窓会名簿のあり方について、昨年度特別委員会を設置し検討を重ね、本年5月の定期総会において、1954年以来原則隔年で作成してきた冊子の「会員名簿」の印刷発行と会員への冊子提供を終了し、電子版「会員名簿」による管理とサービス提供を行うことをご承認いただき、進めているものです。今後は、さらにログイン登録ユーザーを増やし、会員情報を充実させるとともに、適切な運用の下に、会員の皆さまに有用なサービスを提供できるように改善してまいります。まだログインいただけていない会員の皆さまにおかれましては、7月1日付けで郵送させていただきましたEACONログインのご案内やホームページなどをご参照いただき、ログインしていただけますよう、お願いいたします。

このように、同窓会の仕組みの足元を固め、会長就任時のコンセプトである“人が繋がる、人を繋ぐ、同窓会”を実践できるような環境を、まずハード面から少しずつ整えてきました。また、繋がりを広げる試みとして、イエズス会校4姉妹校同窓会の共同企画イベントの開催や、各地方支部の設立支援の取り組みなども進めております。さらには、ホームページや会員名簿だけでなく、会費のあり方や仕組み、納入方法など、まだ取り組めていない諸々の整備についても、引き続き取り組んでまいりますので、さらなるご理解とご協力をいただければと存じます。

冒頭でも触れていますが、新たな時代を迎えるにあたり、



定期総会で挨拶を述べる山田会長

ここ数年私は、今後本会はどうあるべきかを、改めて多面的かつ俯瞰的に模索する必要があるのではないかと感じておりました。

そこで本年は「栄光学園同窓会のビジョン検討」特別委員会を設置し、今後の本同窓会のあるべき姿を、様々な視点から、増強した次代を担う中堅・若手の幹事を中心に検討することとしました。このことは、定期総会でもご説明し、本ALUMNIにも総務部の記事として掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。会創設当時の少人数の同窓会から12,000人を超える会員数となった本会ですが、その仕組みや位置付けは、変化こそあるものの基本的には創設時からの踏襲であると捉えております。過去のふりかえりと現状の評価を行うとともに、今後のあり方を模索し、全ての本会会員が「栄光学園同窓会の会員で良かった」と思える会に少しでも近付けるよう、今後、皆さまのご意見なども踏まえながら、検討を進めていこうと思っております。

過去を大切にし、栄光のDNAを継承しつつ、より広い視野、未来志向で“Men for Others, with Others”を実践できるよう、全ての会員の皆さまの下支えとなることを常に忘れず、学園、後援会、姉妹校同窓会とも協力しながら、躍動感あふれる同窓会にしていければと思います。また、これまで同窓会や同窓との繋がりにあまり関心の無かった方が、同窓会に関心を持たれた際に、関わり易い“居場所”や“仕組み”がどこかにあるような会にしていければと思います。“人を繋ぐ、人が繋がる同窓会”に近付けていけるよう、会員の皆さまには、同窓会事業にご理解とご協力をいただけますよう、また一層積極的に同窓会活動にご参加いただけますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。

## 同窓会活動

### 「栄光生の心意気」 第4回オール栄光ゴルフコンペ 開催報告

「第4回オール栄光ゴルフコンペ」幹事団事務局  
渋谷 直人（27期）

「やっぱり皆の想いが天に通じたよね」

2019年8月25日の日曜、東京稲城市にあるよみうりゴルフ倶楽部は、前週末の猛暑とはうってかわって、晩夏の爽

やかなゴルフ日和に恵まれました。

一年前の同時期に開催された第3回大会では、40℃にも迫るといふ酷暑の中での開催であったため、第4回大会は募集当初から参加者集めに大変苦労しました。

「あのような暑さの中では二度とゴルフなどできない」、「真夏のラウンドは敬遠することにした」などなど、過去の参加者宛の案内メールでは、多くの厳しいご意見もいただきました。

そのようななか、数か月前から気象庁の長期予報などを基に「今年の夏はエルニーニョの影響で、昨年のような酷暑予報は出ていない」と訴え、1期の徳永さんからの「暑さなど吹き飛ばす『栄光生の心意気』を見せよう」との応援メールの後押しなどもいただきながら、最終的には85名という多くの方々の参加で本番を迎えることができました。

そのような経緯がありましたので、当日朝を迎えた際は、冒頭の「皆の想いが・・・」が正直な感想でした。

85名の内訳ですが、林副校長、小泉先生をはじめ、1期から53期までの実質三世代全22の期に亘る同窓生、さらには今回初めて卒業生の保護者の方にも同伴参加いただきました。

構成も、26期以降の還暦前世代が総勢49名を数え、第1回開催当初のスローガンであった「若い現役世代を中心としたより幅広い層でのゴルフイベントへ」も確実に進んでいる、と言えるようになりました。

さて、肝心の成績ですが、以下のような結果となりました。

#### ① 個人戦(ネット／ハンデ戦)

優勝	21期	守谷氏	スコア	71.4
準優勝	23期	崎山氏	スコア	72.0
3位	37期	馬渕氏	スコア	72.0

#### ② 個人戦(グロス／実力勝負)

バスグロ	23期	崎山氏	スコア	78
2位		小泉先生	スコア	80
3位	24期	藪崎氏	スコア	80

#### ③ 期対抗団体戦(ネット、各期上位4名)

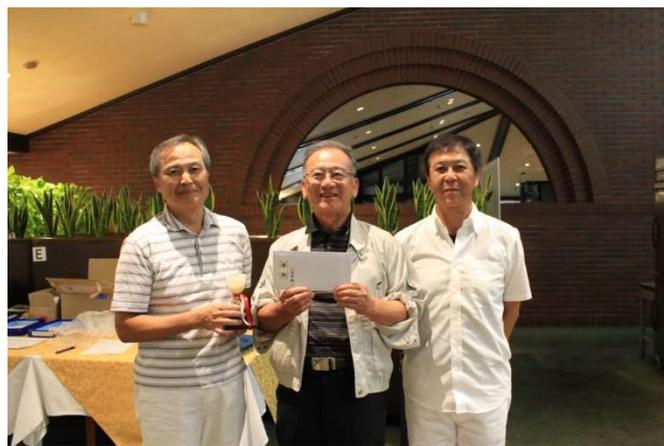
優勝	21期	スコア平均	72.90
準優勝	27期	スコア平均	74.45
3位	1-17期連合	スコア平均	74.60
4位	23期	スコア平均	74.60
5位	24期	スコア平均	74.65

#### ④ 期対抗団体戦(グロス、各期上位4名)

優勝	27期	スコア平均	84.0
2位	20-30期台連合	スコア平均	84.2
3位	23期	スコア平均	87.5



団体戦(グロス)優勝 27期



団体戦(ネット)優勝 21期

個人のハンデ戦では、21期の守谷氏がグロススコアでは87の19位ながら、多くのハンデを稼ぎ、唯一アンダーパーのスコアでの優勝となりました。

さらに個人のグロス戦では、23期の崎山氏が二年連続でベストグロス賞の荣誉に輝き、栄光OBゴルファーの実力ナンバーワンの名をほしいままにしております。そのようななか、2打差の2位には小泉先生が入り、さすが年間数十ラウンド



オールEIKOゴルフコンペ 集合写真

の経験値に裏打ちされた素晴らしい成績を収め、参加者皆を驚かせました。

ただ各個人戦優勝のお二人ともに、所用で表彰式を欠席されていたので、栄えあるトロフィーの授与はいずれも代理の方宛に、という残念な結果となりました。

一方の各期対抗の団体戦ですが、ハンデ戦の部では、21期が個人優勝の守谷氏をはじめ、4位の柄澤氏、11位の高橋氏、16位の滝口氏と、同期5人のエントリーながら確実に4名が上位に名を連ね、2位に大差をつけての優勝となりました。

グロス戦の部では、総勢17名の最大勢力を揃えた27期が、悲願の実力ナンバーワン期の奪還を果たしました。27期は、第1回大会で初代王者に輝いたものの、その後の第2回、第3回はいずれも20期の後塵を拝していました。今回は満を持して、この大会のために関西からもポイントゲッターを呼ぶなど、背水の陣を敷いて決戦に臨んだ結果、代々受け継がれている「特大トロフィー」授与の荣誉を得ることができました。

また、同期4名に満たない期の連合チームである、1,15,16,17期のチームと20～30期台のチームは、それぞれがハンデ戦の部の3位、グロス戦の部の2位に食い込む健闘をみせました。

来年は是非とも、同期4名を集めていただき、単独期でのチームとしての更なるご活躍を期待しております。

なお次回の幹事期は、団体戦のハンデ戦の部での、優勝と4位と規定されておりますので、21期と23期になりました。

各々個人戦のハンデとグロスのそれぞれの優勝者を抱える期になりますので、大変強力な幹事団を編成いただけるものと思います。

さて来年夏は、東京オリンピックの開催時期でもあり、ゴルフ競技がオリンピック種目に追加採用されて二回目を迎

える大会でもありません。きっと日本中でゴルフ熱が大いに盛り上がるのでは、と予想されます。

ゴルフは世代を超えて、さらには経験や技術や実力にとらわれず、丸一日皆で楽しめる数少ないスポーツです。

まだ一年あります。これからでも新たに始めようという方、暫く休止して再開

しようか迷っている方、ゴルフは嗜むがコンペには二の足を踏んでおられる方、是非ともお仲間としてお待ちしております。

今後もこのゴルフコンペを、同窓会活動における一大イベントとして同窓生皆で盛り上げていきたいと思ひます。

最後に、会の運営にあたり、学園をはじめ各所、各期有志の方からのご支援、ご協力を数多くいただきました。

26期、27期の幹事団を代表してこの場を借りて御礼申し上げます。どうも有難うございました。

**同窓会執行部より**

**特別委員会：「会員名簿とEACON」からのご報告**

総務部長 青木嘉光 (10期)

**■ EACON名簿がスタート、新規ログイン会員(登録者)が増加中**

前号ALUMNIで、ご報告いたしました通り、特別委員会「会員名簿とEACON」では、EACONで「役に立つ」会員名簿をご提供するべく議論を重ねてきました。その結果を5月11日の総会でご承認いただき、計画通り7月1日に「会員リスト」を配布、従来の印刷型名簿に替えて、「EACONによる会員名簿」の配信を開始することが出来ました。その後、8月10日現在で、1,068人が再配布された仮パスワードを使

い新規にログイン。設定変更前登録者2,124人と合わせて3,192人の会員がEACONにログインし登録した状態となっております。各期別のEACONログイン会員数(登録会員数)と割合は表の通りです。

**■ 再配布された仮パスワードで新規ログインまだお済でない人は、是非お願いします。**

7月1日、EACONの名簿配信開始とともに未ログイン(未登録)の会員6,425人に仮パスワードを郵送で再配布いたしました。その後、EACONのログインに関し事務局への問い合わせが増えたため、7月10日に、広報部から急遽「EACONの使い方」についての緊急連絡をホームページのTOPICS欄に掲載いたしました。ご覧いただいた会員も多いことと思ひます。これには特別委員会の委員(31期森)が作成した動画を挿入してあります。今回、再度仮パスワードの配布を受けた会員で、まだ新規ログインがお済みでない方は、是非、この動画を参考にしてログインをお済ませ頂くように重ねてお願いいたします。

**■ メールアドレスが一覧表示されるようになります。EACON名簿の利便性向上のため、引き続き改善を進めていきます。**

コミュニケーションの手段が多様化した時代において、会員名簿にメールアドレスの掲載が求められていました。特別委員会はこの要請に応えるべく、EACONのプロバイダー

への依頼を繰り返してきましたが、やっと9月中にEACONの会員名簿にメールアドレスの一覧表示ができるようにすると回答を得ました。これにより、現在10項目の一覧表示項目を11項目に増やすことが出来るようになります。

**《現在の10項目》**

期、姓、名、クラブ、大学、職歴、住所1、住所2、電話番号、逝去

**《改良後の11項目》**

期、姓、名、クラブ、大学、職歴、住所1、住所2、電話番号、メールアドレス、逝去

同窓会関連諸規定の「同窓会の会員情報管理の運用について」の1-(3)に、同窓会長から「次の情報は、非公開とすることを極力思いとどまっていたいただいと考へております。会員が集会等の案内をしようとしても全く連絡がつかなくなってしまうことになるからです。」として・

期	会員数	配布前ログイン者数	配布後初ログイン者数	現在の登録者数	登録率	期	会員数	配布前ログイン者数	配布後初ログイン者数	現在の登録者数	登録率
01	29	1	3	4	13.8%	35	182	5	22	27	14.8%
02	51	13	3	16	31.4%	36	166	6	25	31	18.7%
03	70	2	16	18	25.7%	37	182	29	22	51	28.0%
04	80	15	6	21	26.3%	38	183	7	20	27	14.8%
05	69	36	1	37	53.6%	39	163	11	16	27	16.6%
06	107	30	6	36	33.6%	40	178	12	20	32	18.0%
07	124	55	4	59	47.6%	41	185	33	12	45	24.3%
08	115	18	17	35	30.4%	42	171	10	17	27	15.8%
09	138	52	14	66	47.8%	43	184	13	20	33	17.9%
10	123	42	12	54	43.9%	44	179	21	7	28	15.6%
11	143	25	21	46	32.2%	45	180	29	14	43	23.9%
12	144	62	8	70	48.6%	46	181	18	12	30	16.6%
13	135	7	22	29	21.5%	47	170	42	8	50	29.4%
14	157	27	28	55	35.0%	48	177	4	17	21	11.9%
15	153	49	9	58	37.9%	49	177	5	13	18	10.2%
16	151	27	34	61	40.4%	50	177	8	17	25	14.1%
17	165	46	17	63	38.2%	51	182	31	14	45	24.7%
18	150	46	19	65	43.3%	52	178	6	9	15	8.4%
19	165	5	41	46	27.9%	53	178	24	13	37	20.8%
20	154	34	25	59	38.3%	54	176	6	10	16	9.1%
21	163	10	36	46	28.2%	55	183	8	17	25	13.7%
22	167	41	20	61	36.5%	56	178	4	12	16	9.0%
23	170	7	28	35	20.6%	57	179	54	10	64	35.8%
24	172	39	17	56	32.6%	58	181	13	12	25	13.8%
25	173	6	26	32	18.5%	59	180	60	10	70	38.9%
26	178	91	13	104	58.4%	60	178	23	18	41	23.0%
27	177	70	14	84	47.5%	61	184	28	16	44	23.9%
28	169	74	7	81	47.9%	62	178	103	10	113	63.5%
29	176	31	24	55	31.3%	63	177	95	2	97	54.8%
30	169	57	12	69	40.8%	64	176	33	16	49	27.8%
31	176	61	16	77	43.8%	65	179	55	25	80	44.7%
32	174	35	18	53	30.5%	66	172	64	13	77	44.8%
33	173	77	8	85	49.1%	67	188	58	25	83	44.1%
34	174	15	29	44	25.3%	計	10716	2124	1068	3192	29.8%

《各期別、EACON登録者(ログイン者)数と比率》

“現住所と電話番号”。という記載があります。

今回の変更で、今後は、現住所、電話番号、メールアドレスの三つ連絡手段が記載出来ることとなります。**どれか一つは「公開」として選択**していただければ、全く連絡がつかなくなるということは避けられると思いますので、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

また、今回のEACON名簿の配信を機に次のようにいくつかの要望もいただいております。

①「検索結果に、初めから、自分を入れて還元表示されるようにしてほしい。」

②「お友達申請の時、逝去者がでて来るのはおかしい。」

③「精々、一期180人程度、ワンオペレーションで還元されるよう出来ないのか。」

などです。このうちの①と②については9月中旬に改善するという回答がEACONのプロバイダーから届いております。

引き続き、EACON名簿が使いやすくなるよう、また役に立つように、プロバイダーとも話し合いながら改善を続けて参ります。是非、未ログインの方はログインをされ、多くの会員の皆様にご利用されるよう、お願いいたします。

## 「栄光学園同窓会のビジョン検討」特別委員会のご報告

総務部長 青木嘉光（10期）

今年度、会長の発案で設置されることとなった「栄光学園同窓会のビジョン検討」特別委員会の第一回会議が8月20日に開催されましたので、ご報告致します。なお、第一回と次の第二回は、この特別委員会の方向を探る自由な意見交換会と位置付けており、参加メンバーの発言を本号ALUMNIでご紹介するものです。読まれた会員の皆様、ご意見・お考えをお寄せくださり、議論に参加していただけるようお願いいたします。

### 先ず、会長から「栄光学園同窓会のビジョン検討」特別委員会設置の目的を説明

第一回の「栄光学園同窓会のビジョン検討」特別委員会を開催いたします。定期総会の議案書、また平成31年同窓会会長新年ご挨拶にも書きましたが、会長になって2年、会長になった時から、自分が退任したあとのことを考えるのが会長の一つの大切な仕事だと思って、この2年間やってきました。5月総会で、もう一期2年という了解を頂きました。最大でも三期6年、普通なら二期4年と考えますが、次につなげていくにはどうすればいいのかを考える中で、そもそも、この

同窓会の仕組みと言うのが、学園が70周年を越え、同窓会員も12,000人、当初、少人数でスタートしてから12,000人になっても基本的仕組みは変わっていない。それでいいのかも含めて、今後どうしていくのか、また学園が様変わりする中で、どうしていけばいいのかということ、私から次に引き継ぐべき世代に向けて、その人たちを中心に出来るだけ幅広くに検討して頂いて、次代の人達の良い形に同窓会をしていく。もちろん同窓会なので、1桁期台の先輩方でご活躍をされている方々もたくさんいらっしゃる中で、大先輩方を尊重しつつ、若い人たちも取り込みながらという、そういう同窓会へとさらに進めて行くことが出来ればと思って、この特別委員会を立ち上げさせていただきました。これから9ヶ月、まず今年度中ということで、色々ご議論頂きながら、どういう形が将来的に同窓会としてはいいのかということで少し方向性を出して頂ければと思いますので、よろしくお願いたします。基本的には総務部のマターになりますので、資料や全体的な整理、さらに進め方に関しては総務部長の方でやってもらいます。ただ、その中で、今日も色々ご意見を頂きながら事務的には総務部マターですが、「委員会」ということからいうと、私の腹案的なところでは、この中で中心になる「座長」的な方を選出して、その方を中心に議論を進めて頂くのがいいのかなとも考えていますので、それも含めてご議論頂ければと思っております。

私もかれこれ20年ほど同窓会事業に関わっているかと思えます。菱沼さん、高須さん、その前の後藤さんと会長が替わり、その元で色々やってきたのですが、基本的な仕組みが変わらない中で、ボランティア的ないわゆる手弁当で、関わってもいいよと言う人達とやってきました。ただ、栄光の同窓会の全体的な傾向として感じるところでは、「口は出すけど、手は出さない」という、ある意味賢い人が多いのかなと。そんな中でも、そうは言っても誰かがやらなければならないだろうという人が何とかやってきたのが実情だと思います。

この委員会では、自由な意見交換、また方向性を出して頂ければとは思うのですけれども、私が強くお願いして、少々無理を言ってこの委員会を取って立ち上げていただいたところがあります。それは、冒頭言ったように、今後同窓会をどうすべきなのかということ、若い世代の人達にも考えてもらってその人達に引き継いで行きたいという思いがあつてのことです。

もう少し具体的に言うと、そもそも今の会則も含めて、会長がいて、副会長がいて、事務局長がいて、各部長、幹事、常任委員、各委員会という同窓会の組織の形、この仕組みが本当にいいのかなというのもありますし、それから会長を2年少しやらせて頂いた中で、改めて歴史を振り返ると栄光の会長と言うのは比較的事務派が多い。いわゆる会のことを実務的に皆様に議論して頂き、最終的に判断して「では、これでやっていきましょう」と、そのようなタイプだと捉えていま

す。一方では、他の同窓会などでは、会長と言うと、もうちょっとと著名人というか、世間的にも有名な人を頂くというような位置づけとして、事務的には執行部がいるという、そういう建付けの会も結構あります。同窓会の規模が小さかったところから、会員12,000人までの規模になった時に、どういう仕組みがいいのかなどということも、今迄のままでいいのかもしれないし、もう少し違う姿があるのかもしれない。私の中で結論が出ているわけではなくて、とはいえ、検討するべき時期にもう来ていることは間違いないと、そういうことも含めて方向性や到達点として何か形が出てくればいいと思います。とても難しい課題であり、私も色々ともやもやとした思いがある中で、この特別委員会を立ち上げさせてもらったということです。幹事の方達を中心に色々議論していただきたいということを補足させていただき、改めて、よろしく願いいたします。

なお、メンバーは以下の通りとなります。

会長、関根副会長、増木副会長、事務局長及び、活動サポート部長、広報部長、財務部長、菅原信夫(18期)、藤野啓介(28期幹事)、中路喜之(29期常任委員)、米山操(30期幹事)、森厚(31期幹事)、内藤文樹(32期常任委員)、河原光博(37期常任委員)、村井基彦(37期常任委員)、大須賀喜彦(39期常任委員)、西條達(40期幹事)、齋藤琢郎(42期幹事)、米村俊彦(43期常任委員)、石田明久(51期常任委員) \*敬称略 (取纏:総務部長)

## 次に、議論の基礎を揃えるため、ここ数年の同窓会の活動をざっと説明(総務部長)

会員が10,000人を超えたここ数年(2013年5月～2017年5月 菱沼会長、2017年5月から山田会長)の同窓会活動について、同窓会の目的別に振り返った。この間の大きな課題は「栄光学園の70周年記念事業」で、同窓会活動の多くはこの協力のために割かれた。活動を進めるにあたっては、「同窓会員全数調査」、「EACONの導入」、「ホームページ・リニューアル」等によって広く集められるようになった会員の皆様からの色々なご意見が大きな推進力になった。

**栄光学園同窓会会則から同窓会の目的**について再確認し、3つの目的別に活動を振り返った。

### 第1章 総則 第2条(目的)

本会は、栄光学園出身者間の親睦を図ると共に、母校で学んだ高い理想と教養を保ち母校の発展に寄与し、社会に貢献することを目的とする。

(1) 栄光学園出身者間の親睦を図ること。

《事業活動》

- ・2015年5月 第6回OBフォーラム「新校舎建築シンポジウム」隈研吾さん講演 学園大講堂
- ・2015年11月 栄光OBフォーラム@TOKYO 開催 216人参加 日本工業倶楽部会館
- ・2015年11月 栄光学園野球部OB会設立
- ・2016年11月 栄光OBフォーラム@TOKYO 2016 開催 100人強参加 東京ガーデンパレス
- ・2017年6月 第9回栄光OBフォーラム 隈研吾塾
- ・2017年8月 栄光学園創立70周年記念コンサート“EIKO 70th Anniversary FESTA”横浜みなとみらい大ホール 1,500人会場
- ・2017年8月 栄光学園創立70周年記念パーティー(コンサートに続き)横浜ベイホテル東急

望月校長(ALUMNI記事から):在校生とその保護者にとっては、このような集まりに参加するということは、栄光学園とのつながりが、在籍している6年間にどまらず末永く続くものであるということ、社会の中で活躍している先輩たちがたくさんいらっしゃる自分たちもそのファミリーの一員になっていることなどを改めて確認することのできる大切な機会であると思います。

2018年12月 第10回OBフォーラム「ロシア・ワールドカップは世界を変えるか！」小講堂

・2019年9月 JJHAF(日本イエズス会高校同窓会連絡協議会) 共同イベント

イエズス会姉妹校同窓会が参集し、交流・懇親を深めるための初の4校同窓会共同企画。

### 《事務局・総務関連事項》

- ・2013年11月 組織活性化ワーキング・グループ 設置(会長からの諮問)WGから会長へ、第一回答申(2014年5月)、第二回答申(2015年5月)
- ・2014年5月 EACONの導入(2013年7月 ホームページ・リニューアルWG 開始)
- ・2014年12月～2015年1月 「同窓会員全数調査」実施 第1回同窓会員全数調査の回答状況は、発信数8582に対し681通(合計回収率 7.9%)
- ・2016年5月 「栄光学園同窓会会則」の改正が総会で承認される
- ・2019年7月 「EACONによる会員名簿」本格運用開始
- ・2018年5月 ホームページのリニューアル

### 《学園情報》

- ・2015年4月 栄光学園校長、副校長の交代:望月伸一郎校長、林直人副校長に
- ・2015年4月 70周年記念事業募金活動開始(目標5億円)
- ・2016年4月 上智学院と栄光学園を含む4校との法人合併

望月校長(2016年度総会):同窓会や後援会なども、合併によって変わることはありません。各学校に関連した組織機関も、今後ともそれぞれ固有のご活動をご継続いただければ、と思います。イエズス会士の減少ということが合併の理由ではありましたが、この法人合併によって、むしろ大学教育と中学高等学校教育のより緊密な連携のもと、「イエズス会教育の深化」、「幅広い教育ネットワークの構築」、「次世代の担い手の養成」を実現するために協働していくことを目指しています。今後ともなにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます

- ・2017年3月 栄光学園70周年記念事業、新校舎完成
- ・2017年5月 栄光学園創立70周年

## (2) 母校の発展に寄与すること。

学園からの希望、会員からの意見を見直してみた。

### ・2015年度総会

望月校長就任挨拶から

また、ネットワークの構築ということで、私が今後進めたいと考えていることは、同窓会とのネットワーク、卒業生のみなさま方とのネットワークです。現在、毎週1回卒業生の方をお一人ずつ母校にお招きして**OBゼミ**が行われています。今年は25期と35期の方々にきていただいています。在校生時代のこと、お仕事の経歴と現在のこと、後輩へのメッセージなど、毎回とても内容の濃いお話をうかがえています。あらためてこの場を借りてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。他校の方々に本校のOBゼミの話をするると大変関心をお持ちになられますが、実際に実践することは難しいとお話をよく聞きます。栄光学園でOBゼミが二十年近く続いているのも、卒業生の方々の母校愛が、他校よりとても大きいからにほかなりません。OBゼミ以外でも、高校各学年で年に一回開催される**進路ガイダンス**でも、卒業生の方にご講演いただいています。ガイダンス終了後の講演者休憩室に高校生が押しかけて、さらにたくさんの質問をさせていただくのも恒例のようになっています。卒業生の方々と接することで、在校生たちは学校の特徴を再認識し、自分たちの進路を考えるヒントをたくさんいただいています。今後とも同窓会の方々のご支援を学校の教育プログラムの中に具体的に取り入れていくこと、すなわち同窓会の方々とのネットワークをさらに太くしていくことは、学校の内容をととても豊かにしてくれるのです。今後は、今までのように卒業生の方々が栄光にいらしていただくという形ばかりではなく、栄光生の方から卒業生の方々の活躍の現場にお邪魔させていただくという形もできないだろうか、などいくつかの具体的な構想の実現も含めて、今後ともご支援を賜りたいと思っています。よろしく願いいたします。

### ・2017年度総会

望月校長就任挨拶から

同窓会のみなさまには日ごろより学園の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。特に70周年事業の募金にも多大なるご寄付をいただいておりますこと、あらためて御礼を申し上げます。

Q 井上(23): 私たちが在学していた頃は、外国人神父等多様な方々と接することが出来ました。今は望月先生の話にもあったように、イエズス会神父はいなくなり、多様性が失われてきていると思います。簡単ではないと思いますが回復させる方策を検討していただきたいと思います。

### ・2018年度総会

Q 花川(11): 母校70周年後の学園との関わり方や定常的な募金のあり方などを検討するとのことですが、具体的にどんなことを考えていますか。例えば、奨学金制度の創設等は如何ですか。

A 山田会長: 新校舎竣工後も手をかけなければならない建物・設備が多々あり、学園の財政状況は決して潤沢とは言えず、卒業生の寄付への期待が高い状況です。また、卒業生からもサッカーグラウンドを人工芝にするための寄付をしたい等の意見もあります。今のところ寄付を受け付ける定常的な仕組みがないので、まずはそういった仕組みを作りたいと考えています。奨学金については以前から提案はありましたが、実現していませんでした。他校でも取り組みを始めているようなので、今回の募金検討の中で課題としていきます。

A 関根副会長: 同窓会がらみの奨学金は今のところありませんが、栄光学園自体に奨学金制度がないということではありません。

### ・2018.3.31. 会長対談(第1回): 望月校長

望月校長: ありがとうございます。おっしゃられる通りで、他校の例をみると、ステークホルダーのひとつである同窓会が一種の圧力団体になっていることもあるようです。同窓会の承諾がなかなか取れないので、学校が新たな一步を踏み出すことができないこともあるようです。そういう意味では、先ほど申し上げたように、学園としての基本的な教育理念は変わらないと思いますけれども、時代に合わせて変わっていく部分については、本当によくご理解をいただける世代の方たちが同窓会の中核でいらっしゃるの、大変ありがたいです。

## (3) 社会に貢献すること。

### ・2019年度総会

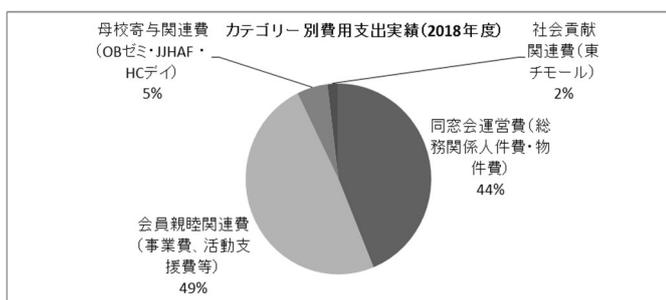
田中(10): 社会貢献活動として東ティモールイエズス会校支援が記載されていますが、具体的にはどんな内容ですか。また、もっと外部社会に目を向けた課題に取り組んだらどうか

と思いますが、如何ですか。

#### (4)これらの目的別の費用支出実績について

現在の同窓会会費は一人年間2,500円、会費免除外の会員は約9,000人。会費納入率は2018年度47.0%、2019年度44.9%。初年度の入会金などを加えると、平均して年間の収入総額は12,000千円前後。これが、同窓会活動の目的別に次のような割合で支出されている。

同窓会運営費(事務局関係人件費・物件費)	44%
会員の親睦関連の費用(事業費・活動支援費)	49%
母校寄与の関連費用(OBゼミ・JJHAF・HCデイ)	5%
社会貢献関連費(東チモール)	2%



#### この後、第一回会議なので、テーマをしぼらず出席者が自由な視点から発言、意見交換

「栄光学園同窓会のビジョンを議論する前に知っておきたい」

まず、一番重要なポイントなんですけど、栄光学園同窓会のビジョンって、一体なんだということ。私が考えているのは、まず、栄光学園と同窓会の理念の一致と理念の実現。

やはり学園が進もうとしている方向に同窓会があっべきだろうということ。もう一つは、ステークホルダー。これ、今、すごく複雑化している。DIVERSITYということも含めると、従来入れていなかったようなステークホルダーも出てきて、それを圧力団体として見るか見ないかは別として、非常に多くの異なる集団が栄光学園の周囲に存在しているのだと。それから三つ目として、栄光学園同窓会の会員のための同窓会で終るのか、あるいは社会における栄光学園卒業生の具体的活動の支援をすると言う意味も同窓会にあっていいのではないかと。即ち、栄光学園の理想とするものは、皆さんが大学に出て、さらに企業に入って、それから最近思うのは企業を卒業してからさらに次の活動に行く中で、栄光の理念と言うのが社会に還元されていく。そうなってくると栄光学園の卒業生の示す力というのが、実は栄光学園の力になる。学校と言うものの両輪を、在校生と卒業生が支

えるというそれだけの、在校生の支援組織ではなく、我々がある意味、栄光学園の主役になるんだという、こういうような考え方がこれからは必要になってくるのではないのか。ここで、我々が新しい同窓会をどうするかを考える前に、常識として知っておかなければならない。(18期・菅原)

#### 「寄付金の制度について」

例えば、今回の70周年で校舎の建て替えがありましたね。募金もありました。学校が通常廻って行くには充分収支はあっているけど、例えば、何か大きな行事などがあって、目的や事情に応じて寄付を募りましょうという仕組みはあってもいい。(51期、石田)

#### 「法人合併後について」

栄光学園は上智大学と比較して、雰囲気も同じだし、今回の合併にはあまり違和感を感じてない。上智学院がどういう要求をしているかはわからないんですけど、それが入ってくるのが、悪いのか良いのかを言うのは別の話ではないのかなと思う。で、今、実際、神父様がいなくて修道院の建物も無くて、でも、栄光と上智とで、流れているものは神父様がなくてもかわらないと思う。上智学院から何か言われて変わる部分があったとしても、本当に大きなことでなければ環境の変化として受け入れて同窓会も対処し、協力すべきではないのかなと思う。(37期、河原)

#### 「アーカイブの利用について」

なんとなく理念は継続しているようなんだけど、この後このままずっと行くのであるのなら、いいのだけでも。そうでないのであれば、OBが語り部になる必要もあるのかなとも思って、それがアーカイブに繋がって行くといいのではないのかな。そういう関わり方というのものもあるのではないのかなと思う。(30期、増木)

#### 「卒業生の企業活動の支援について」

例えば、大先輩からあった話は、企業活動をサポートする栄光の同窓会。要するに同窓生の企業活動を同窓会として、何かサポート出来ないか。その為には、色々な集まり、ファシリティというのがありますが、東京都内でないといけな。そういうファシリティを持ってないだろうかと盛んにおっしゃっている。で、その先輩の場合は、別組織を作ろうと言っている。そうでなくても、今の同窓会の中に、例えば「企業部会」みたいなを作って部会長を別に立てて、同窓会全体との連携を持ちながら、企業の人達とのやり取りをサポートして行く。というようなことをやればいいのではないのと言う話をさせて頂いていて、それに対しては「うん」というような感じではない。もう一つは慶応大学にはモスクワ三田会というのがあって、メンバーが70人ぐらいいる、その5倍、350人の人が東京モ

スクワ三田会支部でやっている。これ栄光で出来ないのかなと思っている。モスクワではなくニューヨークにしたら、栄光の卒業生はいっぱいいる。(18期、菅原)

「地元との繋がりについて」

私は玉縄台の自治会で、役員、副会長をした時に、お祭りに栄光学園の生徒が結構来ていた。この地域、今700世帯位あるんですけど、栄光学園の緊密さってものすごいものがあって、「何かあったら栄光に。栄光は何かあったら地元にと。」地元での苦情も聞かれますし、そういう関係を作っているのも、この理念、先ほど話が出ていたように、卒業してからの方が長いわけですから、卒業してから栄光の理念をとるのは正にその通りだと思います。そういう意味で、社会に出てから、会社に出てから、こうやって栄光に関わっていくのも、いいことだなあと。今日初めて委員会に来て感じました。(42期、齋藤)

「奨学金等について」

私達、一人一人が支払っている同窓会費は終身で換算しても、学園の生徒一人当たりの授業料よりはるかに少ない。お金の面で、学園をサポートするというは現実ではない。生徒にではなく、栄光学園の先生に、例えば海外とかに一人研修を行ってもら。生徒にではなく先生に対する奨学金みたいな形で、それを学園に還元してもら。金額の現実的なところでは、こんなことになるのかなとも思う。(37期、村井)

第一回会議

開催日：8月10日15:00～17:00 アロジジオ会館2階ホール

関根副会長、藤野啓介(28期幹事)、米山操(30期幹事)、森厚(31期幹事)、内藤文樹(32期常任委員)、西條達(40期幹事)は欠席、 \*敬称略

## 関西支部設立準備開始！

活動サポート部長 島崎 裕之 (26期)

この度、関西地区在住の会員有志が、同窓会関西支部の設立に着手いたしました！

同窓会の地域支部は、首都圏では横須賀～茅ヶ崎にかけての地元支部が継続的に活動しており、また国内首都圏外では3年前に設立した北海道や、静岡、岡山などが活動しております。

しかしながら関西においては、多くの同窓生が居住・勤務・在学されているにも関わらず、遠い昔に大阪に集まった記録はあるものの、公式な活動はなされていません。

姉妹校の3校はいずれも関東支部があり、継続的かつ活発に活動しておられます。関西には姉妹校の六甲学院も存在し、同窓会の活性化のためにも関西支部の設立は長年の課題でありました。

そこでこの夏より関西の同窓生情報を収集し会員への働きかけを行い、具体的に関西の有志が中心となり、同窓会活動サポート部が協力する形で行動を開始したところです。この秋にはキックオフを行い、近いうちに支部設立総会を開催する運びとなればと考えております。

既に一部の同窓生方には声をおかけしておりますが、準備のメンバーに「我こそは！」と思う方、本誌27ページに掲載の関連記事にあります連絡先、28期金田氏まで是非ご一報ください。

## EACONの操作説明

広報部

EACONの操作方法については過去にもEIKO ALUMNIに記事を掲載しておりますし、7月に配布した会員リストにも記載しておりますが、EACONを用いた名簿データの拡充を図るためにEIKO ALUMNI本号にも掲載いたします。

以下の操作について説明を行います。

- ① 最初のログイン方法とパスワードの変更方法
- ② ご自身のプロフィール確認、変更方法
- ③ 他の卒業生のプロフィール閲覧方法

### ① 最初のログイン方法とパスワードの変更方法

初めてログインする際には、7月に配布された『「会員名簿」の印刷終了と「EACON」開始について』というご案内にID番号と初期パスワードが印刷されておりますので、お手元にご用意ください。

インターネットで<https://eacon.alumnet.jp/>にアクセスしてください。画面左側にログインIDとパスワードを入力するカラムが表示されていますので、ご自身のIDと初期パスワードでログインしてください。

初期パスワードはそのまま使わずに、ご自身で使いやすいパスワードをご用意いただき、パスワードの変更を行ってください。ログインしたEACON画面の左上に「ユーザーセンター」というボタンがありますのでクリックしてください。ユーザーセンター





職業分類の記入がされているので  
就職活動時に参考にできます。  
検索も可能

最後にクリックして保存

会員名簿は現在初期画面では誰も表示されません。ここから、右上の「条件を設定・変更する」というボタンをクリックして検索設定画面を開きます。

検索設定画面に表示される項目の空欄に条件を記入して「条件指定を決定」ボタンをクリックすると該当する同窓生が表示されます。

職業分類は検索する際に業界単位で条件とできるようにまとめたものです。各自のプロフィールの編集を行う際に、この職業分類の項目も選択できるようにな

条件を指定・変更する

条件指定を決定 クリア

姓(漢字)

名(漢字)

姓(ひらがな)

名(ひらがな)

住所1(県、市町村)

期別

勤務先名

職業分類

製造  医療・福祉  教育・研究  金融・保険  公務員・議員  団体  サービス  マスコミ・出版  会社・小売

住宅・建設・不動産  エネルギー・資源・プラント  IT・通信  航空・運輸  旅行・エンタメ・フード  芸術・文化

宗教  その他

大学名

大学学部名

部活動

サッカー部  野球部  バスケット部  バドミントン部  バレーボール部  テニス部  硬式テニス同好会  硬式テニス部  軟式部  ソフトテニス部  体操部  卓球部  生物部  陸上部  陸上競技部  剣道部  ワンダーフォーゲル部  ボクシング部  プラスハンド部  美術部  美術部・工芸部  物理部  生物研究部  山岳部  山の同好会  写真部  書道部  図書部  新聞部  編集部  『栄光』編集部  歴史研究会  郷土研究会  囲碁将棋部  将棋同好会  英語部  E.S.S.  演劇部  音楽鑑賞部  合唱部  聖書研究会  カトリック研究会  E.C.C.  Eiko Magic Circle  ダブルダッチ同好会  ハードロック愛好会  ピアノ同好会  フットサル同好会  ロックミュージック愛好会  大道芸同好会  町並み研究会  落語研究会

企業・業種支部

栄光法書会  公認会計士税理士栄光会  栄光医師会  横浜市立大学医学部栄光会  横須賀三浦栄光医師歯科医師会  防衛省栄光会  栄光建築人の会  清水建設栄光会  東京電力栄光会  三菱商事栄光会  三菱UFJ銀行栄光会  三菱UFJ信託銀行栄光会  明治安田生命栄光会  三井物産栄光会  東工大栄光会  栄光同窓カトリックの会  栄光OBゴルフコンペ  鎌倉CC栄光OB会  栄光AEROの会

部活・地域支部

栄光横須賀OB会  遠東栄光学園同窓会  茅ヶ崎栄光会  藤沢栄光会  北海道栄光会  横浜栄光会  岡山栄光会  鎌倉栄光会  ニューヨーク栄光会  バリ栄光会  ヘルム栄光会  マラカ栄光会  シンガポール栄光会  インディアンクラブ  栄光学園剣道部OB会  栄光学園山岳部OB会  栄光学園軟式蹴球部OB会  栄光学園(ドミニオン)部OB会  サッカー部OB会  生物部OB会  物理部OB会  物理部OB会  プラスハンドOB会  プラスハンドOB会  栄光同窓カトリックの会  ソフトテニスOB会  栄光学園野球部OB会

その他支部

同窓会活動

会長  副会長  事務局長  事業部  常任委員  委員  財務委員  H.P.委員  期委員  支部委員  支部委員(事務局)  監事

検索結果に自分を含める

条件指定を決定 クリア

閉じる

2は見せたくない、など確認の結果修正が必要であれば、再度プロフィールの更新画面に戻って設定しなおすことになります。

「友達」とは同窓会員間で申し入れと承認を経て友達としてEACON上に登録した関係です。「グループ」とは同期のグループや各支部等で作成されたグループを示します。

「学歴・職歴」のプロフィールには職業分類の記入も行ってください。後輩学生が就職活動をする際にも、こうした職業分類があると希望職種の先輩を見つけやすくなります。

「活動その他」のプロフィール項目は同窓会支部活動や学生時代の部活動を選択します。

### ③ 他の卒業生のプロフィール閲覧方法

他の卒業生のプロフィールを閲覧する、あるいはEACONを名簿として利用する際には、検索を行う必要があります。以下に会員名簿の検索方法についてお知らせします。

EACONではプロフィールとして入力されている様々なカテゴリーを用いた名簿検索を行うことができます。名前や学年から検索することはもちろん、大学名、勤務先、住所、クラブ活動などからの検索に威力を発揮します。

名簿検索の使い方は以下の通りです。トップページ左側のメニュー欄の「会員名簿」をクリックしてください。

っています。そこで選択した職業分類が検索時に適用され  
ます。

検索にあたり、期別の項目を用いる場合、1期から9期の方  
の検索には01～09と0を付けた2桁を条件としてください。

なお、ご自身の期を検索すると、ご自身が表示されないよ  
うに設定されていたため、システムの改修を予定しています。  
改修前にご自身を表示させるためには、検索条件の設定画  
面の一番下にある「検索結果に自分を含める」の項目にチ  
ェックを入れてください。

## 2019年度 栄光学園同窓会定期総会議事録

### 同窓会事務局

[日 時] 2019年5月11日(土) 12:00～15:10

[場 所] 栄光学園アロイジオ会館ホール

[出席者] (カッコ内の数字は卒業の期)

会長:山田宏幸(30)、副会長:関根修一(20)、増木洋介(30)、  
部長:青木嘉光(10)、島崎裕之(26)、高橋英治(28)、近藤  
亮介(45)

幹事:中路喜之(29)、米山 操(30)、森 厚(31)、中村 稔  
(33)、河原光博(37)、村井基彦(37)、大須賀善彦(39)、西  
條 達(40)、米村俊彦(43)、石田明久(51)

常任委員:前川 卓(1)、東海林 修(2)、鈴木宙明(4)、河相  
董(8)、八木英樹(9)、花井勝三(12)、大島弘尚(14)、新井  
隆(14)、早川光敬(18)、広瀬裕敏(21)、松田信也(22)、佐  
藤耕太郎(27)、渋谷直人(27)、柳下 修(29)、宮川祐一(30)、  
壺岐 太(32)、

事務局長:前山茂雄(13) (記)

(以上役員・常任委員等 34名)

支部役員:高橋正明(サッカー部OB会 19)、古谷哲夫(物  
理部OB会 21)、福島和彦(ブラスバンドOB会 45)、菅田栄  
一(山岳部・栄光同窓カトリックの会 5)、平岡慎雄(インディ  
アンクラブ 17)、川田俊一(生物部OB会 8)、柳下 修(ソフ  
トテニスOB会 29)、花井勝三\*(栄光学園野球部OB会  
12)、鬼頭文彦(栄光医師会 14)、関根修一\*(栄光法曹会  
20)、森 義博(明治安田生命栄光会 25)、上原 真(栄光学  
園横須賀OB会 31)、田中尚武(逗葉栄光同窓会 10)、牧  
野進一(藤沢栄光会 9)、伊藤紀一郎(茅ヶ崎栄光同窓会  
22)、蟹江俊仁(北海道栄光会 24) \*(兼)

(以上支部役員 14名、除く(兼)出席者を除く)

各期委員:富山英昌(3)、中村正二(5)、三春勝正(6)、八木  
克道(6)、石川俊克(7)、荻原佳樹(7)、齋藤 肇(7)、高井直  
紀(8)、内山正樹(9)、小久保勝右(9)、山口憲一(9)、近藤一

郎(10)、奥山 巖(11)、牧野文勝(11)、高垣洋太郎(14)、杉  
浦俊紀(16)、平井明登(18)、前田 洋(18)、小池正克(22)、  
前田真孝(29)、佐々木健太郎(40)、片桐悠貴(51)、坂本  
淳(51)、横谷俊孝(53)、平 光生(59)、勅使河原大誠(64)、  
趙 翔(67)、中島史翔(67)、平野翔太郎(67)、宮澤貴大(67)  
(以上各期委員 30名)

総計78名

来賓:望月伸一郎 校長

### 議事内容

#### 1 議長の選出

仮議長を務める関根副会長(20)が開会を宣言し、議長  
に花井常任委員(12)を選出した。

#### 2 山田 宏幸 同窓会会長挨拶

同窓会長の山田です。週末のお忙しい中お集まりいた  
さありがとうございます。本日の出席は約80名と私の覚えて  
いる限り最大の方々のご出席をいただきました。少しずつの  
取り組みの成果が実を結んできた結果ではと思っています。

本日は、決算報告や2年に一度の役員選任等沢山の議  
題が予定されています。私も2年前に会長に就任いたしまし  
ましたが、まだ道半ばと捉えており、更に続けさせていただ  
ければと思っています。また、長年検討してきました会員名簿に  
つきましては、議案として提案できる形になりました。その他  
も含め、ご審議のほどよろしく願いいたします。

#### 3 望月 伸一郎 校長のご挨拶

只今ご紹介を賜りました栄光学園校長の望月と申します  
よろしく願いいたします。日頃から同窓会の皆様には栄  
光学園の教育活動にご理解とご支援を賜りお礼申し上げます。  
今日の事業報告の中にもありますけれども、毎週の  
OB ゼミでは、様々なOBの方々に来ていただいて、生徒た  
ちに話をさせていただいたり、高1から高3対象の進路ガイド  
ンスにも卒業生に来ていただき、お話を伺う機会を設けていま  
す。本当にありがとうございます。それ以外にも同窓会の皆  
さんには学園のアーカイブにも力添えを頂いています。今  
年は創立73年目になりますが田浦時代を経て、大船に移  
転してからでも50年以上が経っています。学園には様々な  
その間の資料があり、保存室を作って保存しています。田  
浦時代を知っている先生がいなくなり、古い写真や資料な  
どの整理に同窓生の方のお手伝いをお願いしています。先  
日も7期の方が大船キャンパスに来て私が校舎を案内しまし  
ましたが、その中には大船の旧校舎もご存じなく、大船キャン  
パスにも初めて来たという方もいらっしゃいました。

今考えていることとしましては、校舎に入って直ぐの所に  
田浦時代の写真とかいろんな資料を展示したらどうかという

2018(平成30)年度収支計算書

栄光学園同窓会

自2018年4月 1日  
至2019年3月31日

(単位:円)

ことです。卒業生の方が新しい建物だけではなく古い建物はこうだったなあということ思い出していただけるようなスペースにしたいと思います。37期の川村さんに構成を依頼していて、来年の栄光祭の時には皆さんにご覧いただけるようにしたいと考えております。

私は栄光学園に来て、35年になり、36期生以降を教えました。今日の出席者名簿を見せていただくとそれ以降の方は1/4しかいないということで、まだまだ頑張らなくちゃいけないと思っております。今後とも本学に対する支援をよろしくお願いいいたします。本日はどうもありがとうございました。

4 67期委員紹介

花井議長より今年入会した67期生の委員8名(伊藤 大貴、伊東 滯、佐藤 航貴、趙翔、出口 諒、中島 史翔、平野翔太郎、宮澤 貴大)の名前が紹介され、出席した趙・中島・平野・宮澤各委員から新任の挨拶があった。

5 2018年度事業報告

関根副会長から、議案書に沿って報告を行った。概要は以下の通り。(詳細は議案書参照)

2018年度は、テーマとして掲げた「人を繋ぐ、人が繋がる同窓会」を実現していくため、昨年度に引き続き、名簿、情報発信及び共有、コミュニケーション強化のための検討と改善などの諸施策に取り組んできた。具体的には、昨年度から検討を進めていたホームページのリニューアルを完了し、2018年6月から運用を開始した。繋ぐ手段の一つであるホームページをリニューアルすることにより、会員への情報提供を充実させた。また、ホームページ運営体制強化のため、「ホームページ運営委員会」を立ち上げた。

当年度の主要検討課題である“名簿のあり方”は、特別委員会「会員名簿とEACON」を立ち上げ、月1回のペースの委員会で検討を進め、一定の方向性と運用を纏めた。

会費については、日ごろからの会員への働きかけにも関わらず、納入率が若干低下した。具体的な会費徴収方法の検討などは行ったものの、今後持続可能な会とするための会費や収支のあり方などの抜本的な検討については、継続課題となった。

運営体制では、ホームページ運営委員会や特別委員会をきっかけとして幹事をさらに増強し、会務執行機能の強化を図った。

主催事業としては、定例事業と併せ、初心に帰り学園小講堂で第10回OBフォーラムを開催した。また、イエズス会校姉妹校の各関東支部との意見交換を行い、共同での事業開催に向けて協議を進めた。

活動サポートは、各地域の卒業生の分布状況を把握し情報提供するなどして、各期や各支部の活動活性化を模索した。また学園創立70周年を機にリニューアルした「オール栄光ゴルフコンペ」にも引き続き協力した。

質疑

Q 石田(51):総務部報告で事務局との連携強化とありますが、具体的にどうのことですか。

A 関根副会長:同窓会の仕組みは会則に規定され、総会については全体の意思決定、常任委員会は総会に対し

収入の部	
科 目	
1.	前 年 度 繰 越 金
2.	当 期 取 入
	入 会 金 取 入
	会 費 取 入
	過 年 度 会 費 取 入
	名 簿 広 告 取 入
	受 取 利 息 取 入
	雑 収 取 入
	前 受 金 取 入
	(調整勘定)
	前 期 末 前 受 金
	当期収入 計
	収入の部 合計

支出の部	
1.	総 務 費
	給 与
	通 信 費
	交 通 費
	印 刷 費
	事 務 用 品 費
	会 議 費
	慶 弔 費
	器 具 備 品 費
	手 数 料
	補 修 費
	雑 費
	予 備 費
	小 計
2.	事 業 費
	名 簿 印 刷 費
	会 籍 印 刷 費
	送 信 費
	ホームページ運営費
	ホームページ制作費
	退職教職員の会補助費
	支部・活動グループ等支援費
	OBゼミ運営費
	栄光OBフォーラム運営費
	JHAF等活動費
	同窓会記念品製作費
	寄付金
	小 計
	当期支出 計
3.	次 年 度 繰 越
	支出の部 合計

収 入 支 出

ホームページへのバックナンバー掲載に際し、2018年度収支計算書の掲載を割愛させていただきます。

(広報部)

て発議したり、個別の議案の審議・決定等を行っています。また、執行委員会は実務執行的なことをやっています。

また、総務部と事務局との連携とは、基本的に事務局は会員の情報とか各部の活動等の情報が日々入り、その処理などを行っています。全体にかかわることなど総務部で対応しています。例えば、総務部としては名簿のあり方など全体的なことは見ますが、その中の一人一人の情報などは直接見ていないということです

**Q 石田(51):**事務局は吉田さんお一人ですか。

**A 関根副会長:**現状前山事務局長と吉田さんの二名体制です。

## 6 審議事項

### 第1号議案 2018年度決算承認に関する件

近藤財務部長から、収支計算書及び貸借対照表について説明があった。

収支計算書を見ると、当期収入は対予算5万円減の1,487万円と概ね達成したが、会費納入率は45%と昨年を下回った。支出はOBフォーラムを学園内で実施したこともあり、栄光アラムナイ発行費やホームページ運営費の増加分をカバーして合計1,305万円となり182万円の黒字となった。

貸借対照表では会費前受金が943万円あり、総資産額は4,172万円になっている。

議案書にあるように、原田会計監事(24)・上甲会計監事(33)から「収支計算書及び貸借対照表の内容は適正なもの」と認められる」との報告書を受けています。

### 質疑

**Q 石田(51):**長期的トレンドは、名簿発行がなかった分支出が減っています。会費納入率が多少下がっても収支はそれ程問題ないように見えますがそう考えてよいですか。

**A 近藤部長:**2018年度は収入が多い年度で黒字決算になりましたが、来年度以降は会費収入が減り、OBフォーラムや支部支援とかの同窓会活動の根幹にかかわる活動があるので資産総額は減少傾向になると思われます。対応について、今後考えていきます。

**Q 古谷(21):**5千万円の資産の扱いについて考えをお聞かせください。また、支部・活動グループの支援について、予算を下回っているが郵送費補助だけでいいのか見直しも必要と思います。

**A 山田会長:**5千万円の資産は金額としても大きいですが、今後も今の仕組みのまま行くと納入率が少しずつ下がっていく懸念があり、会員数も以前は11,000人位で上限と想定していたものが、さらに増加している中で、会費・事業費をどうするのかということを考えていこうかと思っています。

支部・活動グループに対してはいろんな形でPRして、活性化を図っていききたいと思います。今の支援の仕方が時代に添わなくなっているとも考えられるのでその辺も改めて考えていききたいと思います。

**挙手による採決の結果、第1号議案は挙手多数で承認された。**

### 第2号議案 2019年度役員等

山田会長から2019年度役員について背景の説明と人事提案があった。

役員候補者は、議案書に記載の通りですが、その前提としてこの2年を総括します。

前任の17期菱沼前会長の時に“血の通う同窓会”ということで組織活性化ワーキングの答申などを受けて、この2年間出来ることからまずやってきました。前菱沼会長の時にEACONという電子名簿システムを立ち上げましたが、その活用について議論してきました。また70年事業では、同窓会はイベント・PR等を行うこととして、執行部側としてもこれに力を注ぎ、皆様のご協力により同窓会の寄付金目標額を大きく超えたということで大成功だったと思います。

70周年が終わってこれから足元を固めようということで、個々の継ぎ足し会則だったものをシンプルで今の実態に沿ったものに改定しました。更に広報について、執行部と会員間の情報共有がスムーズに出来るようホームページの全面リニューアルをしました。EACONという電子名簿情報については、どのように活用していこうか、同窓会の根幹をなすのは会員の情報だと思っておりますので、その部分を今後さらに整理をしていく必要があるのかなと思います。

また先ほど近藤財務部長からもありましたように、会費についても長い目で見た時に事業とのバランスを考え、抜本的に、同窓会のあり方を含めて検討していこうと思います。

この2年間“人を繋ぐ人が繋がる”同窓会という形で全ての方が同窓会に関わりたかったら関わられるような仕組みを目指してやってきましたが、未だ道半ばというのが実状です。

新体制では、会長・副会長・部長・会計監事・事務局長は全員留任する案ですが、幹事は大幅に増員したいと思います。中堅から若手の参加をできるだけ増やし実行部隊としての幹事を増やそうというものです。既にホームページ運営委員会や名簿とEACON特別委員会には多くの方に参加していただいています。ご承認いただけますようお願いいたします。

### 質疑

**Q 石田(51):**私は幹事と指名されています。幹事のミッションは何ですか。

**A 山田会長:** 昨年は、ホームページ運営委員会、EACONと会員名簿についての特別委員会に参加いただきました。今年は栄光学園同窓会ビジョン検討特別委員会の設置を考えています。今年度の主なミッションはこのビジョン検討になります。

**Q 富山(3):** チームを組んで課題を早く解決するというところでワーキンググループなど立ち上げているようですが、幹事とか特別委員とか呼ばれたりもしてそのあたりが良く分からないので説明してください。

**A 山田会長:** 中堅・若手の参画してくれる方を出来るだけ増やそうという考えがあり、その役割については柔軟にしておきたいという部分もあって、結果的に不明確なところがあったと思います。今回はこれだけ多数の幹事を指名するので、役割分担をきちんとしていきたいと思います。今までの特別委員会は総務部預かりの傾向が強かったですが、今後委員長を幹事から選任するなどしていこうと思っています。

**挙手による採決の結果、第2号議案は挙手多数で承認された。**

### 第3号議案 2019年度事業計画承認に関する件

関根副会長から、議案書に沿って提案を行った。概要は以下の通り。

2019年度は、ホームページの更なる充実、及びEACONを中心とした名簿情報の充実と会員相互の情報共有の実現が活動の軸となる。また、定常的な主催事業を行うとともに、イエズス会校姉妹校との共同イベントなどを具体的に検討し、実施していく。

本年度は、引き続きホームページ運営委員会を中心に、ホームページのさらなる充実を目指す。また、学園のアーカイブ整備に協力し、アーカイブ情報をホームページや実展示などで公開することも検討していく。

同期会・支部のさらなる活性化を図り、委員会やイベントなどをきっかけとし、若手委員、幹事の発掘、勧誘などをさらに進めていく。

新たな時代を迎え、学園も様変わりする環境の中、今後本会はどうあるべきかを改めて模索していく。具体的には、新たに幅広い年代の幹事等が参加する特別委員会を設置し、今後の本会のあり方、事業展望、将来に備えるための財政の形などを検討していく。

特に、財政については、将来展望と根本的な手法の見直しのための分析・検証を進める。具体的には「会費」について、適正会費、会費徴収方法、納入率、納入促進手法、また他の収入なども併せ、総合的に検討していく。

母校創立70周年後の学園との関わり方や定常的な募金のあり方なども、学園と情報共有を図り、同窓会としての方

向性を検討するとともに、引き続き学園と協議を行っていく。

### 質疑

**Q 石田(51):** EACON活用のインセンティブは今もありませんか。

**A 青木総務部長:** 継続しています。

**Q 石田(51):** 各期の登録者数はどうすれば分かるのか。

**A 前山事務局長:** 事務局に問い合わせればわかります。

**Q 石田(51):** オール栄光ゴルフコンペというのは何故ですか。

**A 山田会長:** ゴルフに限りませんが、ゴルフだと幅広い会員が集まるといことで、毎回百名程度の参加者があり、OBフォーラムなどに匹敵する規模になっているものです。

**Q 石田(51):** 総務部の活動の中身が具体的に見えません。会員名簿については、メールアドレスの公開や栄光在学世代にも公開すると違った活用も出来るのではないかと思います。

**A 青木総務部長:** 全体的には後で説明しますが、メールアドレスの扱いは難しいので継続審議としています。

**Q 石田(51):** 皆さん、メールアドレスを持っていますか。

→ 挙手確認したところ出席者のほとんどが持っていた。

**Q 石田(51):** 学園資料室の手伝いとは何ですか。

**A 青木総務部長:** 校長から手伝ってくれとの依頼で既に2回の整理を手伝いました。当面の問題は解決しましたが、同窓会としても貴重な資料なので、引続き活用を考えていきたいと思っています。

**Q 石田(51):** 資料の中に過去の卒業アルバムはありますか。面白いコンテンツになると思います。

**A 青木総務部長:** 全冊揃っていますが、デジタル化されていません。今後の課題として取り組みます。

**Q 石田(51):** 会費の払い方について何か検討していますか。

**A 近藤財務部長:** 終身会費の提案と思いますが、個人的にはベストと思っています。しかし、以前そういった形態であったものを変えて今の状態になったという経緯があり、納入済者・未納者の不公平の処理等いろいろな議論が必要な段階だと思います。当面、今のルールで納入率を上げていくことに注力したいと思います。

**Q 田中(10):** 社会貢献活動として東ティモールイエズス会校支援が記載されていますが、具体的にはどんな内容ですか。また、もっと外部社会に目を向けた課題に取り組んだらどうかと思いますが、如何ですか。

**A 関根副会長:** 東ティモール支援は学園からの要請で、金銭支援をしています。社会貢献活動支援について、一人の会員が一つの方向になる訳でもないので、有志の活動の支援要請があれば活動サポート部が支援していくというのが現在のスタンスです。今後の在り方については今年度

スタートする同窓会ビジョン検討特別委員会の中で検討することになります。

2019(平成31)年度収支予算書案

栄光学園同窓会

自2019年 4月 1日  
至2020年 3月31日  
(単位:円)

**Q 八木(6):**高1ゼミ・OBゼミはよいことと思います。この中に聴講された方がいれば、感想など聞かせてください。

**A 平(59):**一度OBゼミを聴講しましたが、裏話なども含めて貴重な話を聞くことが出来ました。

**A 高橋広報部長(28):**昨年のゼミ企画を担当し、自分でも1講座担当しました。高1ゼミは25名が受講し、熱心に聞いてくれました。OBゼミは、卒業生も含めて広く開放されていますが、参加者は数名でした。仕事そのものより大学の専門を選ぶ時、就職活動の時など、どんなことを考えたかの方が興味を持たれたようです。

**A 島崎活動サポート部長(26):**私も今年入会した67期生の時に担当しましたが、今日の参加者には受講者はいなかったようです。高齢化社会にどう対応するかというテーマでしたが、自分の親族などに当てはめて考えてくれたようです。

挙手による採決の結果、第3号議案は賛成多数で承認された。

第4号議案 2019年度収支予算案承認に関する件

近藤財務部長より今年度の予算案について、議案書に基づき説明があった。

・収入については、今年度第2グループなので過去実績を参考に昨年より減らした。

・支出は各部よりの申請をベースにしている。今年度は、この次に審議する会員リストの印刷費(合計約100万円)分が増加、ホームページのリニューアルの初期投資分の減額などで、トータル62万円の増加とした。

・以上により、収支は310万円の赤字となる。

質疑

**Q 内山(9):**支出のかなりを占める会員リストの作成については、次の5号議案で審議することになっているので、予

収入の部

		(ご参考)	
科 目		2018年度実績	予 算
1.	前 年 度 繰 越 金		
2.	当 期 収 入		
	入 会 金 収 入		
	当 年 度 会 費 収 入		
	過 年 度 会 費 収 入		
	名 簿 広 告 収 入		
	受 取 利 息 収 入		
	雑 収 入		
	前 受 金 収 入		
	(調整勘定)		
	前 期 末 前 受 金		
	当 期 収 入 計		
	収 入 の 部 合 計		

支出の部

1.	総 務	費 用	
	給 通	費	
	交 信	費	
	印 通	費	
	事 務	用 品	
	会 務	費	
	慶 器	費	
	手 具	費	
	補 備	料	
	雑 修	費	
	予 備	費	
	小 計	計	
2.	事 業	費	
	会 員 リ ス ト 印 刷	費	
	会 報 印 刷	費	
	飛 送	費	
	編 集 取 材	費	
	ホ ー ム ペ ー ジ 運 営	費	
	ホ ー ム ・ カ ミ ャ ン デ ィ 運 営	費	
	支 部 ・ 活 動 グ ル ー プ 等 支 援	費	
	OB ゼ ミ 運 営	費	
	栄 光 OB フ ォ ー ラ ム 運 営	費	
	JJHAF 等 活 動	費	
	同 窓 会 記 念 品 製 作	費	
	寄 付 金		
	小 計	計	
	当 期 支 出 計		
3.	次 年 度 繰 越		
	支 出 の 部 合 計		
	収	支	

ホームページへのバックナンバー掲載に際し、2019年度収支予算案の掲載を割愛させていただきます。(広報部)

算の4号議案はその後に審議すべきと思います。

**花井議長:**5号議案の説明を先にして、採決は4、5号議案を合わせて行うことにします。

第5号議案 会員名簿に関する件

青木総務部長より会則名簿の印刷終了とEACONによる電子版会員名簿による会員情報管理と会員サービス提供開始について、

- 1 2014年度まで作成していた冊子の会員名簿を廃止すること。
- 2 今後は媒体を「WEB」に変更し、EACON上の電子版「会員名簿」で会員情報の管理及び会員へのサービス提供を行っていくこと。
- 3 この運用開始は、2019年7月1日とすること。

の提案があった。(詳細は議案書参照)

併せて、4月21日の常任委員会において、栄光学園同窓会個人情報保護基本規定の第5条と第9条が下記のように改正されたことが報告された。

#### 第5条 記 の1番目

改正前 : 会員名簿作成

改正後 : 会員名簿を作成し、名簿に記載される会員に対して提供

#### 第9条 2(1)

改正前 : 会員名簿作成のために出版社等への提供

改正後 : 会員名簿作成のために出版社等への提供、名簿の会員への提供

#### 質疑

**Q 齋藤(7):**EACONの登録者数を見てみると1,400名位でほとんど増えていない。この状況で全会員へID・パスワードを再度送っても効果は期待できないと思います。EACONにはメール機能もあり、これを活用することで使用者数増を図った方がよいと思います。同窓会なので名簿機能は大切だが、今回の提案は最後ではなく、次のステップに繋げていくべきものと思います。

**Q 富山(3):**会員の情報について、他人に知らせたくない、知らせなくてもいいと考える人もいます。そういった場合に対応できるようにしておいて下さい。

**Q 八木(9):**会員リストの配布先は全会員なのか、会費支払者のみなのか明確にして下さい。

**Q 米山(30):**会社で改正個人情報保護法対応に関わりました。対象団体の範囲も広くなり、同窓会も含まれます。罰則もあるのでしっかりした対応が必要です。こういった対応が必要だと思います。

**A 青木部長:**EACONには他にメール機能とかありますが、そもそもメールアドレスを登録しないことには宝の持ち腐れになります。各期で用意しているメーリングリストが活用できればと思いますが、同窓会へ開示いただくのは難しい事もあるだろうと思います。個別に皆さんが登録してもらい、少しずつ積み上げていくしかないのかなと思います。

なお、個人情報を知られたくない場合、公開非公開というのも自分で直すことが出来ます。出来ない方については従来通り事務局で対応します。

メールアドレスについても原則自己登録・管理ですが、常任委員のアドレスについては連絡の必要上過去に事務局で登録したことがありました。

メールアドレスの公開非公開については今回の答申とは別に考えていこうと思います。

**山田会長:**今回作成する会員リストについて説明します。

紙の名簿は2014年版が最終版です。今後、EACONへ移行していくにあたり、ログインの仕方など最低限の情報は

冊子としてお配りしたいと思います。また、実際にEACONにログインする時会員番号が必要になることもあり、会員番号とお名前をリストにしました。

費用的にもアラムナイと同レベルだと思いますので、今後数年に1回出すということは大きな問題にはならないと思っています。また、最近是在学中の生徒名簿等がなく、近くの人達のデータを知らないということが普通です。活用という面で1万人以上の会員データがあるということは、若い会員にとっては諸先輩の状況を知れるという意味で役に立つものと思っています。

**Q 富山(3):**現在同期会をやるとき事務局に印刷の支援をしてもらっていますが、今後も継続されますか

**A 事務局:**はい継続します

**Q 内山(9):**5号議案の"記"の中に、会員リストを発行するというのがありません。載せないと予算の印刷費100万円とリンクが取れません。

**A 山田会長:**紙の名簿の代わりに簡易版として今回は出しますというイメージでした。手段の一つと考え、仕組みとしての提案は、"記"の3項になるので触れませんでした。

**花井議長:**第4、5議案について、本質的な質問は出尽くしたと考えますのでまとめに入ります。

紙の名簿を廃止するという、代わりに Web 版を使うということは方向性ということをご理解いただけたと思います。

運用上の問題はあるかと思いますが、名簿の電子化をスタートし、ブラッシュアップしていく方向性についてはご理解いただけたと思います。

会員リストについては未だすっきりとご理解を頂けていないのかもしれませんが、この一年間作業をしていくには総会で方向性についての承認が必要です。議長として、①提案の方向性は理解する ②自分の情報が意図しない扱いを受けること等は除去する ということ、ご指摘の点を踏まえながら電子版の名簿を進めていくという件の決を採りたいと考えます。

**鈴木(4):**リストを作るのに100万円かかるというのではなく、EACONのアップデートのために必要な費用と考えた方がよいと思います。特別委員会の中で審議して下さい。

**山田会長:**まだ道半ばとっておりますけれども、特別委員会の“会員名簿とEACON”の中で引き続き審議し、さらに今後の事を考える際に“ビジョンの特別委員会”への引き継ぎで行くということになっていくと考えています。

**花井議長:**予算とは綺麗にリンクできなかったですが、7月1日からこの会員リストというのを利用できるようにしていくということで決を採らせていただこうと思いますけどもいかがでしょうか。

まず5号議案の会員リスト会名簿に関する件についてご承認いただけますでしょうか。

挙手による採決の結果、第5号議案は賛成多数で承認された。

「学園通信」より

引き続き印刷費用100万円という収支予算がありますけれども、4号議案の予算について承認を賜りたいと思いがいかでしょうか。

八木英樹（9期）

挙手による採決の結果、第4号議案は賛成多数で承認された。

1. 73期生の入学式

4月8日、73期、182名の入学式が行われました。下表に示す通り、応募者数、受験者数、実質倍率ともに過去5年間で最高の値です。新校舎効果でしょうか。

年	応募者数	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
2015	666	640	278	2.30	186
2016	636	611	264	2.31	184
2017	713	690	259	2.66	184
2018	749	711	286	2.49	188
2019	882	845	263	3.21	182

以上をもちまして議題1から5号は承認されました。その他というところで少しご説明したいと思います

8 その他

(1) 特別委員会「会員名簿とEACON」について

第5号議案(会員名簿に関する件)の中で説明済み

(2) 学園アーカイブについて

第3号議案(2019年度事業計画)の中で説明済み

(3) 『栄光学園同窓会のビジョン』検討 特別委員会について

山田会長:今までも将来展望の議論を何度もしてきたが、先ず容易に出来る処からからとなりがちだった。本来どうあるべきかという処を幅広く議論する場として特別委員会を8月から発足させることにした。先程承認いただいた多数の幹事の方々、及びそれ以外でも我こそはという方の積極的ご参加をお願いしたい。

(4) 一時在籍・入会会員の紹介

羽生 雄毅さん(51期在籍)・山田 立己さん(67期在籍)の入会申し込みがあり、4月20日の常任委員会で承認されました。

(5) オール栄光ゴルフコンペの紹介

渋谷委員(27)より8月25日開催予定のオールEIKOゴルフコンペ参加の呼びかけがあった。

P 石田委員(51):2件の提案をしたい。

① 事前に質問を集めてまとめておくと、議論がスムーズに進められると思う。

② 特別委員会ではオンライン会議化を検討してほしい

A 山田会長:前向きに検討します。

閉会の辞

平委員(59)の閉会宣言により、総会を閉会した。

2. 第8回科学の甲子園全国大会 今年も大健闘 総合2位!

科学技術振興協会(JST)が主催する科学の甲子園で栄光学園チームは昨年度、念願の初優勝を遂げたことは90号に記載されております。

今年度も大健闘、総合で第2位。参加した68期(高3)、69期(高2)の皆さんの報告から抜粋します。毎年活躍しているのは出場者の実力もさることながら、校内の選抜などサポート体制の強みがあるようです。

□神奈川県予選

TM君 (68期)

全国大会への道は、県大会突破から始まります。我々が栄光学園は、これまで7年連続で制覇し、全国大会の常連校です。

県大会には物理・化学・生物・地学・数学・情報の6科目の知識や思考力を問う筆記競技と、正確・安全・素早く実験や工作を行う実技競技の2つがあります。1チーム8人の団体戦で1校2チームまで出場できるので、夏休み直前の校内選抜試験で、これらの科目や工作技術に優れていると認められた16人が選ばれ、県大会に出場しました。

会場は横浜国立大学で、筆記競技が去年の10/28、実技競技が11/18に行われました。県内から22校32チームが出場しました。結果は、総合成績第2位が栄光学園Aチーム、そして第1位は栄光学園Bチーム! 県大会8連覇を達成し、第8回科学の甲子園全国大会の、神奈川県代表になりました。

□実技競技「ツール・ド・さいたま」

MT君 (69期)

科学の甲子園には毎年事前開示の競技があります。今年のお題は、前輪と後輪を持ち、自立走行する二輪車を製作するというもの。その二輪車がいかにやく30m走行できるかを競いました。

事前準備では「自立できる」に到達するまでに苦戦しました。ジャイロ効果をうまく利用しなければなりません。どこの学校も苦戦したようです。半分のチームは競技当日までうまく自立するものを作ることができず、走行すらできなかった状況です。

栄光チームも車体が自立したのは競技一週間前です(汗)。自立に成功した後は、手回し発電機の回す速さ・回数の調整とスタートの練習の繰り返しでした。

栄光の機体は、違う人がそれぞれ作っていた、細くて安定して自立できる車体と安定して自立できるジャイロ機構のバランスを組み合わせたらうまくできたという感じで、団体戦ならではの成果だったと思います。

### 3. ダブルダッチコンテスト優勝

ダブルダッチってお分かりですか。2本のロープを使って行う縄跳びです。向かい合った2人の回し手が、両手のロープを半周ずらして回す中を、跳び手が色々な技を交えて跳ぶというもの。現在、全米で人気のスポーツの一つとなり、若者、子ども達を中心に世界に広がっています。わが国では1996年に日本ダブルダッチ協会が発足し、その普及活動を行っています。

栄光学園体操部のダブルダッチ班のRoyal Illusionは、今回68期、69期の混成チームです。3月に東京で行われたダブルダッチ・ジャパンファイナル2019でスピード、パフォーマンスの両部門で優勝、さらに8月3日、八王子市で開催されたワールド2019で見事、両部門とも優勝を勝ち得ました。快挙です。ジャパンファイナル優勝時点のメンバーの声(抜粋)をお聞きください。

MI君 (69期)

今までは69期だけでチームを組んでいたのが、初めて先輩とご一緒しました。やはり先輩は上手で、練習

時の雰囲気でも助けられました。直前にメンバー一人が怪我で欠員、そのために演技を作り変えるというアクシデントもありました。

しかし、試験期間中も毎日練習を積み重ねて演技を完成させ、さらに色々な方に助言をいただき、例年より遥かに完成度が高まったと思います。実際、大会当日も不安は少なく、ワクワク感を感じていました。

### 4. 今年度進学状況

進路進学委員会が4月11日時点で把握しているデータは以下の表の通りです。

国公立大学	2019		2018		2017		2016		2015		2014		2013		2012			
	総数	(進学)	現役 67期	(進学)	総数	現役 66期	総数	現役 65期	総数	現役 64期	総数	現役 63期	総数	現役 62期	総数	現役 61期	総数	現役 60期
東京大学	12	(12)	11	(11)	16	13	10	7	11	6	5	4	5	4	5	5	9	7
文芸学類	6	(6)	3	(3)	14	12	10	6	11	6	10	7	13	6	8	2	10	6
文芸学二類	6	(6)	4	(4)	6	2	6	1	7	5	2	0	3	2	6	5	3	2
文芸学三類	22	(22)	13	(13)	30	21	25	17	19	15	19	13	28	23	26	22	37	28
理工学類	8	(8)	3	(3)	9	1	7	4	6	6	6	5	11	7	5	2	10	5
理工学二類	0	(0)	0	(0)	2	1	4	3	3	3	1	0	3	2	1	1	1	1
理工学三類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	3	1	1	0	0
後期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	3	1	1	0	0
合計	54	(54)	34	(34)	77	50	62	38	57	41	45	31	67	47	52	38	70	49
一橋大学	11	(10)	6	(6)	10	7	6	3	12	5	10	7	7	3	17	11	9	3
東京工業大学	14	(14)	6	(6)	6	4	2	1	9	5	5	4	4	4	10	7	8	5
北海道大学	7	(7)	4	(4)	7	1	5	2	5	1	7	0	4	2	4	1	3	2
東北大学	3	(3)	2	(2)	3	2	4	0	2	0	1	1	3	3	3	3	3	1
京都大学	7	(7)	5	(5)	3	1	6	1	10	8	4	0	4	3	7	5	1	0
大阪大学	0	(0)	0	(0)	2	1	0	0	3	1	1	1	3	2	1	0	3	3
東京医科大学	5	(5)	5	(5)	4	3	3	3	1	1	3	2	3	3	0	0	4	3
横浜国立大学	13	(11)	11	(9)	7	6	13	8	9	3	4	4	6	3	6	3	8	1
横浜市立大学	4	(4)	3	(3)	8	5	6	5	6	5	5	4	6	4	3	2	3	2
その他(医歯系)	10	(10)	5	(5)	13	8	13	7	14	5	18	10	16	4	16	8	7	4
その他(上記以外)	11	(6)	7	(4)	9	1	11	5	16	3	3	2	11	6	4	2	16	6
私立大学	2019		2018		2017		2016		2015		2014		2013		2012			
	総数	(進学)	現役 67期	(進学)	総数	総数	総数											
慶應義塾大学	1	(0)	1	(0)	2	1	1	3	2	0	0							
文	29	(9)	22	(6)	31	19	21	19	23	33	23							
経済	4	(2)	3	(2)	2	2	2	4	1	5	6							
法	7	(1)	2	(1)	13	8	14	8	9	15	7							
商	37	(10)	24	(9)	32	35	29	25	29	41	38							
理工	1	(1)	1	(1)	2	3	2	3	3	3	3							
総合政策	0	(0)	0	(0)	4	2	0	2	6	1	2							
環境情報	4	(0)	3	(0)	3	2	4	4	3	5	3							
薬	3	(2)	3	(2)	4	7	4	2	6	3	5							
医	0	(0)	0	(0)	0	0	0	4	4	0	11							
学部不明	86	(25)	59	(21)	93	79	77	74	86	106	98							
合計	14	(2)	10	(1)	21	18	23	10	24	18	23							
政治経済	7	(1)	2	(1)	15	9	10	12	11	25	20							
法	7	(0)	7	(0)	1	6	3	3	4	0	2							
文	2	(0)	2	(0)	3	0	4	4	4	8	4							
文化構想	2	(0)	2	(0)	2	2	4	1	3	2	2							
教育	4	(0)	2	(0)	10	7	8	5	5	10	10							
商	2	(0)	0	(0)	1	2	8	7	8	7	11							
国際教養	9	(0)	3	(0)	9	8	7	8	12	15	13							
基幹理工	15	(0)	9	(0)	14	11	6	5	9	16	10							
創造理工	19	(5)	12	(3)	12	17	11	14	15	14	21							
先進理工	6	(1)	4	(1)	10	3	8	6	7	6	6							
社会科学	4	(0)	0	(0)	3	2	3	2	1	5	7							
その他	91	(9)	53	(6)	101	85	95	77	103	126	129							
合計	22	(7)	13	(4)	7	4	13	12	7	12	8							
上智大学	45	(2)	15	(1)	43	44	29	38	30	37	32							
東京理科大学	13	(0)	2	(0)	37	11	24	14	9	31	19							
中央大学	4	(0)	2	(0)	4	4	5	6	6	13	7							
立教大学	43	(4)	15	(1)	49	38	52	32	40	44	26							
明治大学	13	(1)	9	(0)	24	25	21	12	40	25	23							
その他(医歯系)	58	(11)	8	(2)	59	25	73	55	96	28	18							
その他(上記以外)	0	(0)	0	(0)	1	-	-	-	-	-	-							
University of Deafness (U)	0	(0)	0	(0)	1	-	-	-	-	-	-							
Georgetown University	0	(0)	0	(0)	1	-	-	-	-	-	-							
海外	0	(0)	0	(0)	1	-	-	-	-	-	-							
Grinnell College	0	(0)	0	(0)	1	-	-	-	-	-	-							

※2019.4.11判明分

## 5. 第72回栄光祭開催

5月11、12の両日、栄光祭が催されました。半年に及ぶ準備、選挙による幹部選出など、大変な力の入れ具合で、まさに栄光生活における一大イベントの位置づけです。実行委員長を務めた竹内君の感想から抜粋します。

栄光祭実行委員長 ST君（69期）

皆さんご存知の「切り開く」という意味を持つスローガン「Hack」に沿って、第72回栄光祭を裏方としてサポートしてまいりました。

栄光祭の「成功」とは何なのでしょう？ これは幹部選挙が始まる前から、最後まで悩まされた一つの疑問でした。来場者数を増やすことでしょうか？ 先生方の求める栄光祭を行うことでしょうか？ 自分にはどちらも本質的な栄光祭の成功とは思えませんでした。一方で、明確な答えが当日まで出せませんでした。

しかし、栄光祭当日にお客様を案内する栄光生、食品を売る栄光生、催し物でお客様を魅了する栄光生、フィナーレで泣く幹部を見て「栄光祭は成功したな」と感じました。つまり、栄光生という集団、あるいは各人の魅力を発揮している場に栄光祭がなっていれば、それは栄光祭の成功です。特別な技術や技能ではなく、打ち込んだモノをそれぞれの形で表現し、来場者の方々に何か感じ取って頂けたかだと思います。

## 同期の活動・同期会

### “CHOR GLORIA”第一回ファミリーコンサート開催

藪田碩哉（10期）

私達、10期生有志の男声合唱団「CHOR GLORIA」は結成後初めてとなるファミリーコンサートを6月19日にカトリック片瀬教会をお借りして開催しました。

この「CHOR GLORIA」は、今を去ること60年前、高校1年の時代に、選択科目で沖喜先生の音楽の授業を取った12名が原点です。酒井先生亡き後、新任で来られた沖喜先生は、音楽の授業に加えて12人のコーラスを組織されました。1パート3人の男声4部合唱にぴったりの人数だったのです。学園祭では全校生徒の前で見事な？ハーモニーを披露したことをご記憶の方もあるかもしれません。卒業後は大学や地域の合唱団で活動した人もいる一方、会社勤務で全く音楽や合唱と縁のない生活を送っていた人が大多数でした。ずっと後年になって同窓会での雑談の中から、誰言うともなく、あの合唱をもう一度やってみたいという話が出て、全員がヒマ人となった2014年の同窓会の会合後に再結集を果たしたわけです。中核は当時のメンバーですが全員復帰とはゆかず、また新たに加わったご仁もいて現代の団員は10期生10人です(新会員募集中です)。

毎月一回、横浜に集まって、楽しく練習を続けております。

同窓会から産まれた会なので、次回の2016年、その次の2018年の同窓会でも成果を披露しました。ただ、お酒の入った席でもあり、どの程度聞いて頂けたか心もとない感じでした。そこで単なる余興ではなく、正式にコンサートを開こうということになり、今回の開催となったものです。練習は飲み会の口実ではないかと疑いの目を向ける家族に対しても、立派にコーラスと取り組んでいるという証拠を示す意味もありました。

コンサートは1時間30分。まずはクラブソング



10期生有志合唱団ファミリーコンサート

“Gaudeamus Igitur”で開演。その後のプログラムは3部構成で、第1部は懐かしい栄光学園歌集“Let’s Sing Together”から“Eiko High Forever”、“キャンプ行”、“My Bonnie”、“Little Brown Church”、“山賊の歌”、“Pirates’ Song”の6曲を披露。第2部は趣を変えて「みんなで歌おう」と題し、「みかんの花咲く丘」「浜辺の歌」「故郷」「野ばら」「埴生の宿」を会場の皆さん全員と一緒に歌いました。そしてハイライトの第3部は、ポピュラーな合唱曲を連ね、“Dona Nobis Pacem”、“ブルドックと蛙”、“三匹の蜂”、“Ave Maria”、“Babylon’s Falling”、“希望の島”の6曲を聴いていただきました。

当日の参加者は、栄光学園同窓生、片瀬教会関係者、友人、家族など演奏者も含め52人と多くの方が来ていただきました。コンサート終了後の懇親会は、「LSTからの歌は大変懐かしく栄光生当時を思い出した」とか「歌の合間のトークを含め楽しい時間を共有できた」とか思い思いの感想が交わされ、ビールの泡とともに大いに盛りあがった1時間半でした。お客様の中には稲門グリークラブのOBがおいでになり、その有志4人がわれわれの実力をはるかに超えるコーラスを披露してくださったり、メンバーの一人の奥様のピアノ演奏があったり、誰が主役か分からない充実した音楽シーンが展開されました。出演者もお客さまも一体となった夢のコンサートを無事終えることが出来ました。片瀬教会の皆さまが懇親会の準備から運営まで、心を尽くしてお世話くださいましたこと、心から御礼申し上げます。

メンバーはTop Tenor 高井明、山本強一、Second

Tenor 山本信(指揮者)、菌田碩哉、Bariton 小澤壮六、小池伸一、近藤一郎、Bass 石賀忠勝、佐野洋、渡辺晃行。クラブソング“Gaudeamus Igitur”にある通り、「ぼくらはげんき まだまだやるぞ！」。

さらに練習に励み、次回は「みなとみらいホール」での開催を目指そうと一同ますます燃えております。乞うご期待。

## 27期卒業40周年同窓会

中村洋一郎 (27期)

3月23日(土)18時より、「平成最後の」27期同窓会をホテルプラムで開催しました。南アフリカ、ドイツ、インドからの帰国組を交えた80名の同期生が出席し、稲田(順)先生、シルゴ先生、迫先生、小泉先生にご臨席いただきました。



ご臨席いただいた先生方  
左より、迫先生、シルゴ先生、稲田(順)先生、小泉先生



27期卒業40周年同窓会 集合写真 (2019年3月23日)

恒例となった佐野生徒会長による乾杯で開宴し、諸先生方から近況報告を兼ねたご挨拶を賜りました。稲田先生の92歳という年齢を感じさせない元気なお姿や、シルゴ先生の一人ひとりの名前を即座に思い出される記憶力に、同期一同感嘆しました。恩師の中では「若手」である迫先生や小泉先生も、退職後地域の活動に参加されて益々活躍されているお話を披露され、来年には還暦を迎える初老の私たちにとって、大いに参考となりました。

同窓会では、幾つかの紹介や報告を行ないました。佐々木(正)君が起業したビアスタイル21は、プレミアムビール「GARGER」を製造・販売していますが、神奈川県及び東京都内でGARGERが飲めるお店をリストアップし、会場内で試飲しながら紹介してもらいました。

また、27期は年間で様々な同期イベントを企画していますが、毎年恒例のソフトボール大会(参加者数:26名)、ハマスタ野球観戦(参加者数:23名)のほか、昨年は茅ヶ崎地引網(参加者数:8名)、一昨年は大相撲観戦(参加者数:19名)を開催しました。昨年8月26日のオール栄光ゴルフコンペにも、期別最多となる16名が参加しました。同窓会常任委員の渋谷君を中心にこうした活動報告を行い、今後開催される各イベントへの積極的な参加を呼びかけました。

予定した2時間はあっという間に過ぎ去り、ブラバン出身である岩倉君の指揮による「EIKO HIGH FOREVER」を合唱してお開きとなりました。

## 27期恒例ソフトボール大会

堀内英樹 (27期)

今年3月に卒業40周年同窓会を開催した27期は、五輪イヤーとなる来年に還暦を迎えることとなりますが、ここ20年近く毎年欠かさず実施しているのが母校グラウンドでのソフトボール大会です。

初夏を思わせる好天の下、オプションとなる午前中のテニスを楽しまれた迫先生と高田先生を含めて、25名がフィールドに集まり、1時から夕方まで3試合の熱戦を繰り広げました。第一試合「中一AB組対CD組」、第二試合「在学時横浜市在住組対横浜市以外組」で身体をほぐしながら、一年ぶりに触れるボール、グラブ、バットに手をなじませていきます。そして第三試合は、互いのプライドをかけて戦う「野球部対非野球部」のメインイベントです。年齢なりのプレーの中にも随所に魅せる好守備や快打が光りました。しかし今年是不運にも野球部出身者が少なく混成軍となってしまう、23対4と意外な大差をつけて非野球部が勝利をおさめ、昨年の雪辱を果たしました。これは参考記録でしょう。

試合を終え、お借りした用具の片付けをしてシャワーで汗を流したあとで、大船駅東口の居酒屋に場所を移してお待



27期恒例ソフトボール大会

ちかねの懇親会です。冷えたビールで喉を潤しながら、お互いのプレーを称えたり、近況報告などのよま話に花を咲かせました。投票で選ばれるMVPは、満塁ホームランを含む快打を連発し、快足を活かした好守備で再三味方のピンチを救った中村中君が選ばれました。

クラブごとで持ち回りにしている幹事は、今年のサッカー部から来年の文化部に引き継がれました。また来年、母校のグラウンドで再開することを誓い合いながら、店を後にしました。

## 30期同窓会報告

谷村章夫（30期）

4月20日（土）15時より、「平成最後の！」と銘打った30期同窓会を、THE RIGOLETTO OCEAN CLUB 横浜で開催しました。在学中大変お世話になった迫先生、近藤先生にご臨席いただき、30期生は総勢57名が参加しました。

最初にご帰天された先生と同期生を司会の伴さんからご紹介いただき、全員で黙祷を捧げました。続いて幹事を代表して浜島さんの乾杯で会をスタートし、しばしの歓談に続いて迫先生・近藤先生からご挨拶と近況報告をいただきました。

迫先生の、小学校から大学に栄光でのご勤務、さらには同窓会の招待に至るまで無欠席、そして今も栄光はじめ色々な場でご活躍中というご壮健ぶりに改めて一同驚きました。続いて、実は栄光在学中に迫先生に教えていただいたという近藤先生の、変わらぬお若いご近況やますますご盛んな学究のお話を楽しく拝聴しました。

この年になるとやはり同期の近況は気になるということで、出席者57名全員および欠席で近況のお知らせをいただいた先生と同期生35名の近況報告を、無理を承知で(笑)駆け足で行いました。まさに多士済々というにふさわしい活躍ぶりに何度も歓声が上がりましたが、出席者はまだまだ話したりない！という方が多く、その後の歓談でも大いに盛り上がりました。

続いて、現在学園の同窓会会長を務めている同期の山田さんから、ビデオを交えた新校舎のご紹介をいただきました。なかなか学園を訪れる機会の持てない面々からは感嘆の声があがっていました。また同窓会の色々な活動や、8月のオール栄光ゴルフコンペへの参加も呼びかけいただきました。

恒例となった次回幹事の決定ゲームを終えると予定の2時間半はあっという間に過ぎてしまい、Youtubeの「EIKO HIGH FOREVER」を伴奏に全員で合唱し、記念撮影を終え、名残りを惜しみつつ再会を約しながらお開きとなりました。



30期同期会 集合写真（2019年4月20日）



37期同期会 集合写真（2019年5月11日）

## 37期同窓会開催報告

河原光博、加藤太一、川村貞知、村井基彦（37期）

37期同窓会を、卒業30年の節目である令和元年5月11日（土）に、同期の本庄竜介君がオーナーをしている銀座のセツト・セツテ（<http://www.septsette.com/>）にて開催しました。当日は42名の同期生に加えて、ロバート・キエサ先生、大島弘尚先生、山本洋三先生、今野安春先生、そして、栄光祭でお忙しい中、現役の高田暁先生の5名の先生方にもご臨席いただきました。

37期が卒業したのは平成元年、卒業式は昭和天皇の大喪の礼の日でした。これだけの同期が集まるのはその卒業式以来で、卒業から30年を経て初めての同窓会は、平成越しの令和開催となりました。当然「30年ぶりの再会」も多く、一人到着する度に、“お～、〇〇！??”といった感嘆(?)の声があちこちで発生。開会前から何とも言えない熱気を帯びていました。すでに盛り上がっている中、青山直樹君による乾杯の発声で会は始まりました。

歓談は間断なく続いておりましたが、19時頃から同期の東條稔彦君のライブ演奏、20時頃からお出席いただけた先生から近況報告を兼ねたご挨拶を賜りました。先生方の挨拶では、司会進行した加藤太一君の質問に答える形で、当時の我々が知るよしも無かったエピソードなども披露され、さながらトークショーのように大いに盛り上がりました。予定し

た3時間は文字通り“あっ！”という間に過ぎ去り、30年分気持ちが若返ったところで、「EIKO HIGH FOREVER」を合唱してお開きとなりました。

なかなか同窓会を開催するきっかけのなかった37期でしたが、今回の同窓会の企画は、一昨年度のOBゼミの声かけをきっかけに動き出すことができました。37期にとってのOBゼミ開催は、現役の中高生よりも自分たちのほうが、大きな恩恵を受けることが出来たような気がします。次回は30年を待たずに開催したいと思います。

## 支部会活動

### 茅ヶ崎栄光同窓会総会報告

島崎裕之（26期）

本年6月16日（日）、第12回茅ヶ崎栄光同窓会総会・懇親会が開催されました。「茅ヶ崎美味しいおみせめぐり」第??弾として、会場は茅ヶ崎駅北口の『スペインクラブ茅ヶ崎』。茅ヶ崎にこんな店あったのか?と思うようなお店ですが、開店マル2年との事です。ショータイムが始まる前に総会を開催、活動・会計報告と今年度方針を審議し、滞りなく総会完了。ワインとスペイン料理の懇親会に。店主よりワインと一皿



茅ヶ崎栄光同窓会総会

前列左より 佐々木克己(21)、山本明德(7)、1名おいて酒井伸雄(2)、山口洋一郎(13)、  
後列左より 壺岐太(32)、伊藤紀一郎(会長・22)、池田幸生(24)、島崎裕之(26)、  
横谷俊孝(53)、枝村組子先生、金子和(事務局長・27)

の差入をいただきました。

今回のゲストは初めて紅一点、市内在住の枝村組子先生。ご子息2人も栄光を卒業されています。30期代頃までは女人禁制の教諭陣だったのが、今や常勤で10人ほど女性の先生がいらっしやるのは、古い卒業生の目からは隔世の感があります。唯一53期横谷さんだけが教え子でした。さらに、21期佐々木さんのS高校での教え子が枝村先生だったとの事でびっくり。世の中狭いものです。

最長老2期の酒井さんは、本を出版されるとの事。バリバリ現役です。伊藤会長からは、年2回恒例となったゴルフコンペの拡大・充実のお話をいただきました。

当支部では総会懇親会やゴルフコンペ等の定例行事に加え、昨年度は藤沢栄光会・27期有志との共催で地引網&BBQといった他支部等とのコラボ、カトリック茅ヶ崎教会にて開催された水島治郎千葉大教授(34期)の講演の動員というネットワークを活用した活動等を行って参りました。今年度もますます活動を拡大していく所存です。またオール栄光ゴルフコンペ等本部関連イベントへも積極的に参加し、人を繋ぐ、繋がる同窓会を推進していきます。

茅ヶ崎在住の方のみならず、かつて住んでいた等縁のある皆様も是非仲間になりましょう。ご入会など、本会についてのお問合せは下記にてお待ちしております。

事務局E-mail: eiko.chigasaki@edu.que.jp  
事務局長 :金子 和 (27期)

## 新入会員を迎えて

岡本卓郎 (20期)

岡山栄光会も設立してはや8年目に入りました。

近年当会は、当地出身の会員は1名(20期)ですが、当地に住居を購入して定住された方が3名(13・14・18期)、仕事の関係で当地に関わりの深い方が2名(21・31期)、そして、転勤でお住まいの方々と構成されていました。小さいながらも、まとまりも良く出席率抜群の会です。

本年は、栄光学園同窓会事務局のお力添えを得て、当地域にお住いの新たな会員3名(19・28・30期)の方に入会いただくことができ、総勢9名(内、1名は海外赴任中)になりました。事務局の方には親身にご対応いただき、誠にありがとうございました。

岡山栄光会は、年2回冬と夏に例会を開催しています。

今回の夏の例会は、当会会員運営の倉敷ロイヤルアートホテルで開催しました。参加会員は過去最多タイの7人です。いつもながらの各々の近況報告を含め、おいしいお酒と食べ物で楽しい時間を過ごしました。締めは、やはり”Eiko High Forever”です。

ご連絡がとれていない岡山/倉敷/福山方面にお住いの方がいらっしやいましたら、ぜひご連絡ください。



岡山栄光会

左より、太田(31期)、岡本(20期)、黒川(14期)、伊藤(18期)、水田(13期)、石渡(19期)、瀧口(30期)

## 同窓会関西支部設立キックオフミーティング報告

西川健誠（34期）

栄光学園同窓会関西支部立ち上げの構想が具体化しているのは、本誌「関西支部設立！」の記事にある通りです。この機運を受け2019年9月10日18時半より、大阪梅田「佐勘本店」でキックオフミーティングを開催しました。関西在住組からは、この夏から立ち上げの準備にあたってきた金田真己さん(28期)をはじめ、山本良一さん(26期)、長谷川哲也さん(27期)、矢野皓大さん(61期)、及び西川の5名が、そして同窓会からは、北海道栄光会の立ち上げに携わり、他に茅ヶ崎・藤沢の地域支部の会員でもある、活動サポート部長の島崎裕之さん(26期)が参加しました。

すでに支部の出来た岡山・北海道を超える数の同窓生が京阪神を中心とした関西地区にいるはずなのに、支部がないのはおかしい、またこの人たちに加え、他に様々な理由で関西に縁の出来た同窓生・学園関係者同士の、さらに学園との繋がりの方が是非ともあるべきだ、という事で一同の意見は一致し、他支部の例を参考にしつつ役員・会則について議論をしました。左の原案が確定し2020年5月を目標に支部設立総会開催、との結論となりました。

支部立ち上げの実務に関わる話が一通り済んだ後は、美味しい東北料理とお酒をいただきながらの歓談となりました。参加者の間で在学時期に最大一ジェネレーション分の開きがあり、「今の栄光はこういう風になったのか！」という驚きも多々ありましたが、かつての栄光、現在の栄光、についての情報を交換しあう事で、お互いに、直近の過去まで含む学園の歴史を知る機会となりました。また参加者の中にはご子息を栄光に送られ、文字通りジェネレーション・ギャップを埋められた方もおられます。加えて関東・関西以外の国内、また海外での同窓生の活躍に関わる話、さらには海外で(一度ならず)同じ恩師に出会った話も飛び出し、時間だけでなく空間を超えた歓談となりました。

私の属する34期は3年程前に卒業30年記念の同窓会を行ったのですが、その折関西在住の同期生がいることに一驚したのを記憶し

ています。今回の関西支部キックオフミーティングのために用意していただいた資料によると、同窓会事務局への登録住所が関西の同窓生は115名、現在関西の大学に在学と思われる同窓生は33名とのことです。この方々におかれましては是非、ご参加下さい。また、皆様の同期、部活動の先輩・後輩、あるいは同じ職場の同窓生で、単身の方等、名簿(EACON)上での関西への住所変更はされていないもの、関西居住中の方がかなりおられるかと思われます。この方々にも是非、お声がけ頂ければ幸いです。

関東とはかなり違うカルチャーがある関西。しかも関西の中でも、京都、大阪、神戸と少しずつ空気が違いますが、住んでみるとなかなか味わいのある所です。姉妹校の六甲学院もあります。同窓生同士旧交を温めながら、観察したことを交換する機会があるとよいと思いませんか。そのような観察交換の場としての第一回の栄光学園同窓会関西支部総会を、是非とも近い未来に開催しましょう！

連絡先

金田 真己（28期）

E-mail: mkaneda0@yahoo.co.jp



関西支部設立キックオフミーティング開催  
写真左から、矢野(61期)、金田(28期)、島崎(26期)、長谷川(27期)、  
西川(34期)、山本(26期)【敬称略】

## 歴史文学散歩

### 歴史文学散歩(2019年3月30日) 初春の古道・戸塚の鎌倉道を歩く

吉田幸弘 (14期)

2018年度の最後の「歴史文学散歩」に初めて参加しました。今回は元号の平成の最後の散歩になりましたが、前からこの行事には興味があり、そのうちにとっていたのが今回になりました。総勢14名の初老の栄光卒業生とご家族1名が集い、和やかにおおよそ4時間半を何か所か寄り道しながらウオーキングをしました。この日のテーマは「初春の古道・戸塚の鎌倉道を歩く」で、鎌倉時代から戦国時代までの関東武士の栄枯盛衰の歴史を物語る古道を歩く行程です。

湘南台に近い下飯田駅から始まり戸塚区と藤沢市の境にある俣野別邸での解散でしたが「散歩」とは名ばかりのかなり歩きでのある内容でした。参加者の中では十分若手に位置する私ですが、皆さん健脚でほとんどの方が毎回参加されておられるようで、私も元気づけられて歩き通しました。

この日は天候も良く、まだ3月でしたが、都内の桜の開花が21日でこの日は都内ではほぼ満開のようでしたが、戸塚・藤沢地区は1週間ほど遅れていますのでこれからといった感じでしたが場所によってはほぼ満開の桜も有りお花見も楽しむことができました。

今回歩いたのは小田急線の湘南台駅から善行駅の東側の古道を境川沿いに歩くコースでしたが、近くのメインストリートはよく車で走りますが少し中へ入ったこの古道周辺は別世界でした。初めて寄るところばかりで、神社や寺、代官屋



福泉寺

敷跡、特徴のある公園など興味深いところが多かったです。

散歩コース一帯は横浜市の農業専用地区に指定されていて、ホウレンソウやコマツナなどの葉物野菜、トマト、キュウリなどが実際に生産されている田園地帯で、前はどこにでもある風景でしたが今は貴重な地域と言えます。



天王森泉館裏のわさび棚



観音堂前で集合写真

今回の散歩で特に印象に残ったのは天王森泉館と称されているかつての生糸の製糸工場の一部が移設された建物があり、当時の雰囲気を感じ取ることができました。また聞きなれないウイトリツヒの森や最後の訪問地俣野別邸も隠れた安らぎの場所でした。

この俣野別邸は旧住友家俣野別邸の略称で、1939(昭和14)年に住友財閥の第16代住友吉左衛門友成の別邸として戸塚区東俣野町に建設されたものですが後に国の所有となりました。そして、当時の郊外邸宅の

有り様を物語る歴史的価値の高さから、2004(平成16)年に国の重要文化財に指定されましたが、2009(平成21)年3月に出火、母屋を全焼してしまいました。しかし、今は焼失前の建物に近いものが復元されて一般公開されており、付属庭園もよく整備されていますし、カフェもあるので周辺の住民の憩いの場になっているようです。

今回参加して知ったのですが、この歴史文学散歩は故金子先生の志を継いで、三春氏(6期)が世話役として運営されており、氏は御高齢にもかかわらずコース選定やその下見、資料作成とたいへんご努力をされていることを知り頭が下がる思いでした。また参加したいと思っています。

## 歴史文学散歩(2019年5月22日) 久里浜の歴史と花の国巡り

吉田幸弘 (14期)

今回の歴史文学散歩は令和元年の最初の開催で、久里浜周辺が対象地域でした。ところが予定していた日が前日の天気予報で大雨ということで事務局から前日に延期の連絡があり、1日日延べして実施されました。その影響もあってか普段よりも少なめの10名の参加者でした。この地域は、参加したOBすべてが田浦校舎に通学しましたし、高校の時の40kmの強歩会ではこの付近を歩いた場所でもあるので久里浜は馴染みのある場所と言えます。10ヶ所ほどの要所をめぐるりましたが、特に印象に残ったところを挙げてみます。

久里浜地域はかつては海でしたが、徳川時代初期から埋立てが進められて現在の姿になったそうです。この埋め



久里浜花の国のポピー

立て作業はかなりの難工事だったそうで、その偉業を示す内川新田開発記念碑が平作川にかかる夫婦橋横に建っています。その埋め立てが行われる前には海に面した集落が周辺に数多くあり、その名残としてところどころに貝塚が発見されています。

お寺も何か所かお参りましたが、京急久里浜駅に近い長安寺は浄土宗の寺で、敷地もたいへん広く立派な寺で大きな幼稚園も経営しています。境内の入り口横には「火伏せ不動」があり、厄除けとして近隣の人の信仰を集めているそうです。

「久里浜花の国」は昭和63年の開園ですが、一時米軍の倉庫であった場所が日本に返還され、その後国から横須賀市に払い下げられました。今は公園としてよく整備されており市民の憩いの場所です。春はポピー、秋はコスモスがそれぞれ100万本咲き誇るコスモス・ポピー園をはじめ、ハーブ園、ツバキ園など四季折々の花の開花リレーが楽しめます。自然の地形をいかした園内は広いので、移動には蒸気機



花の国レストラン前で集合写真



園内循環フラワートレイン

関車型のバス『フラワートレイン』が走っており、起伏が多い園内の移動には高齢者や体の不自由な人にはたいへん便利です。レストランもいくつかあり、高台にあるレストランは東京湾を一望できるロケーションでBBQもたのしめます。ただ、私たちが訪れた日のポピーはやや盛りを過ぎた時期ということと、前日の強い雨風の影響でかなり痛められていた印象でした。

野比に向かう長い上り坂は「尻こすり坂」と名付けられています。この坂を高校の強歩会で歩いたことを覚えています。当時は野比周辺の住宅開発が始まった時期で、強歩のスタート地点の京急馬堀海岸駅前が海だったことと併せて当時と比べて今は様変わりですね。

ペリー上陸記念碑は何度か訪れていますが、併設されている記念館を初めて見学し、より当時の様子がよくわかりました。太平洋戦争時には碑が撤去されましたが戦後まもなく復元されたことや碑文は伊藤博文の筆によることなどを知りました。

この記念碑を最後に、1日遅れで開催された歴史散歩を終えて解散しました。

## ● 訃報(2019年3月20日以降判明分)

### 卒業生

高橋賢治氏	(16期)	2013年4月14日
榛沢広己氏	(23期)	2014年9月
永田直己様	(6期)	2016年4月17日
石井昌生氏	(4期)	2018年1月11日
吉澤紘氏	(9期)	2018年3月14日
深川和夫氏	(11期)	2018年5月12日
永井勝氏	(2期)	2019年1月10日
河合良文氏	(16期)	2019年2月3日
黒川尚男氏	(11期)	2019年2月22日
下田陽久氏	(11期)	2019年3月9日
金子英幸氏	(28期)	2019年3月20日
石井尚氏	(4期)	2019年3月21日
舟ヶ崎太郎氏	(40期)	2019年3月30日
小笠原啓祐氏	(1期)	2019年4月22日
関口哲史氏	(43期)	2019年4月27日
田内茂顕氏	(28期)	2019年5月12日
飯野雅彦氏	(4期)	2019年6月8日
浦田藤男氏	(4期)	2019年6月8日
山田崇浩氏	(30期)	2019年6月12日
吉田伸一氏	(13期)	2019年7月3日
一色哲氏	(13期)	2019年7月12日
天野之弥氏	(14期)	2019年7月18日
岩井忠彦氏	(12期)	2019年8月22日
中村智三氏	(11期)	2019年8月29日
飯沼修氏	(17期)	2019年8月29日

謹んでご冥福をお祈りいたします。

## ● 次号(第93号):2020年4月発行予定。

### ● 投稿歓迎

同期会や支部のイベント報告、個人の体験記などの投稿を歓迎します。標準サイズは文章1,200文字程度+写真1枚。同窓会事務局宛てメールまたは封書でお送りください。

メールアドレス: [admin@eikoalumni.org](mailto:admin@eikoalumni.org)

住所:(本号第1頁にあります)。

### ● 編集後記

本号の編集を終えた後となる9月18日、イエズス会4校同窓会の合同イベントが行われます。本号では案内も間に合わず、報告もできないという狭間のタイミングとなってしまいました。この合同イベントの様子は同窓会ホームページでお伝えします。本号がお手元に届く頃には公開できているはずですので是非ご覧ください。

同窓会ホームページでは栄光祭の様子を写真でお伝える等、The EIKO Alumniではお伝えしきれないタイミングのお知らせや、写真等の情報を補ってまいります。